

医史学関係文献目録

(五十音順)

平成 16 (2004) 年

順天堂大学医史学研究室編

- | | |
|------------------------|-----------|
| 01 単行本 | 19 細菌学史 |
| 02 医学切手・書画 | 20 産婦人科史 |
| 03 医学教育 | 21 歯学史 |
| 04 医学用語 | 22 史跡・記念碑 |
| 05 医師会・学会 | 23 疾病史 |
| 06 医史学一般 | 24 耳鼻咽喉科史 |
| 07 医の倫理 | 25 種痘史 |
| 08 医療器械 | 26 獣医学史 |
| 09 医療制度史・医療史 | 27 書簡 |
| 10 衛生史・公衆衛生史・
予防医学史 | 28 書誌学 |
| 11 解剖学史 | 29 小児科史 |
| 12 眼科史 | 30 神経学史 |
| 13 看護史 | 31 診断学史 |
| 14 寄生虫学史 | 32 整形外科史 |
| 15 教室・大学史 | 33 精神医学史 |
| 16 軍陣医学史 | 34 生物学史 |
| 17 形成外科学史 | 35 西洋医学史 |
| 18 外科史 | 36 生化学史 |
| | 37 生理学史 |

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 38 地方史 | 52 法医学史 |
| 39 治療史 | 53 放射線医学史 |
| 40 伝記 | 54 本草学史・博物学史 |
| 41 伝記(双) | 55 麻醉学史 |
| 42 伝染病史・防疫史・感染
症史 | 56 門人録 |
| 43 東洋医学史・伝統医学史 | 57 薬学史 |
| 44 内科史 | 58 蘭学史 |
| 45 皮膚科史 | 59 リハビリテーション関
係史 |
| 46 泌尿器科史 | 60 検査 |
| 47 病院史 | 61 その他 |
| 48 病跡学 | 62 中国語文献 |
| 49 病理学史 | 63 韓国語文献 |
| 50 風俗史 | 64 欧文文献 |
| 51 仏教医学史 | |

今回は 04、15、34、36、48、50、52、56、63、にあたる文献はありません。

01 単行本

青木純一『結核の社会史—国民病対策の組織化と結核患者の実像を追って—』御茶の水書房
荒井保男『ドクトル・シモンズ 横浜医学の源流を求めて』

- 家本誠一『素問訳注 第7冊』
 家本誠一『素問訳注 第8冊』
 大石杉乃『バージニア・オルソン物語—日本の看護のために
 生きたアメリカ人女性—』原書房
 片桐一男『平成蘭学事始 江戸・長崎の日蘭交流史話』智書
 房
 栗山茂久、北澤一利編著『近代日本の身体感覚』青弓社
 埼玉県総合政策部文化振興課『埼玉の偉人たち 郷土の偉人
 を学ぼう』
 酒井シヅ『すらすら読める蘭学事始』講談社
 篠田達明『病気が変えた日本の歴史』日本放送出版協会
 館野正美『吉益東洞『古書医言』の研究—その書誌と医学思
 想—』汲古書院
 寺畑喜朔『絵葉書で辿る日本近代医学史』思文閣出版
 日本薬史学会『日本薬史学会 50 年史』
 浜松市『浜松市史 新編史料編 三』
 前田久美江『現代医療の原典を探る—100 年前の雑誌「医談」
 から—』思文閣出版
 水谷顯一、水谷惟紗久『聖書は動物をどう訳してきたか 日
 本語訳聖書に見る動物名称の変遷』キリスト新聞社
 山形県医師会『社団法人 山形県医師会史』
 山口拓史『岡崎高等師範学校—新制名古屋大学の包括学校③
 —』名古屋大学大学史資料室

山崎智『白き貝殻 日本海軍齒科醫科士官の歴史』

02 医学切手・書画

- 医学の郵便印を求めて 1-3 池田征一郎『STETHOSCOPE』
 (175-176,178) 2-6,3-7,6-10
 「看護師養成をしている赤十字・赤新月社一覽」小野公義
 『STETHOSCOPE』(177) 14
 「赤十字マークとしての緑十字、白十字、黄十字」小野公義
 『STETHOSCOPE』(176) 8
 「切手・医学史をちこち 20 楠本いね没後 100 年」金山知新
 『STETHOSCOPE』(176) 11
 「切手・医学史をちこち 21 小川正子没後 60 年」金山知新
 『STETHOSCOPE』(176) 12
 「切手・医学史をちこち 25 合猿奇猿」金山知新『医学のあゆ
 み』208 (4) 211
 「切手・医学史をちこち 26 日露戦争 100 年」金山知新『医学
 のあゆみ』208 (9) 757
 「切手・医学史をちこち 27 ライシャワー事件 40 年」金山知
 新『医学のあゆみ』208 (13) 1057
 「切手・医学史をちこち 31 『藝用解剖學』100 年」金山知新
 『医学のあゆみ』210 (4) 282
 「切手・医学史をちこち 32 ペリー来航 150 年」金山知新『医
 学のあゆみ』210 (9) 763

- 「切手・医学史をちこち 33 プチャーチン来航 150 年」金山知新『医学のあゆみ』210 (13) 1064
- 「切手・医学史をちこち 34 華岡青洲乳巖手術 200 年」金山知新『医学のあゆみ』211 (4) 321
- 「切手・医学史をちこち 35-36 近藤博士の肖像画 (1-2)」金山知新『医学のあゆみ』211 (9.12.13) 884,1139
- 「日本とマルタ」河部康男『STETHOSCOPE』(175) 7-15
- 「外国の古本屋で古書や絵を漁る」小林英司『ミクロスコピア』21 (4) 312-314
- 「さまざまな護符「はしか絵」」酒井シヅ『CLINICIAN』(526) 3-6
- 「我夢中人 切手になった薬用植物」谷覺『大塚薬報』30 (600) 33-37
- 「日本における医学映画の淵源 (抄)」寺畑喜朔『日本医史学雑誌』50 (1) 96-97
- 「切手で医学散歩 <289-336>」金山知新『Medical Tribune』37 (1-53)
- 「武生市常光寺蔵の山脇東洋肖像画幅について (抄)」長門谷洋治、寺畑喜朔『医譚』(98) 64-65
- 「スイカ (西瓜)」中村實郎『STETHOSCOPE』(177) 9-13
- 「ルルドの泉—3つの軌跡・医学的には—」中村實郎『STETHOSCOPE』(178) 3-5
- 「「他者」の視点で見る「病草紙」(その3) (抄)」西巻明彦、

- 屋代正幸『日本歯科医史学会々誌』25 (4) 199
- 「ハンガリーの聖エリザベス」平瀬光宏『STETHOSCOPE』(178) 11-15
- 「武生市常光寺蔵の山脇東洋肖像画幅について 追加資料 (抄)」森納『医譚』(98) 65
- 「シュヴァイツァー切手リスト (1955 ~ 2003)」山之内卯一『STETHOSCOPE』(177) 3-8

03 医学教育

- 「臨床教育の現場 助産師 世界の助産教育 良い出産ケアを求める女性の声に応え得る助産師養成とは」大石時子『助産雑誌』58 (3) 236
- 「歴史の足跡 北海道医学教育史年表 (1-6)」小竹英夫『北海道医報』(1030-1035) 14-15, 22-23, 20-21, 28-29, 14-15, 16-17
- 「旧制高校理科 (乙) および旧制医科大学予科における語学教育、リベラルアーツと現在 (抄)」柴田幸雄『日本医史学雑誌』50 (1) 88-89
- 「寛政申寅考試書類三種—その1~その3」戸出一郎、町泉寿郎『日本医史学雑誌』50 (2-4) 291-302, 428-448, 617-627
- 「近代医学教育の夜明け 第4話 江戸西洋医学所の起源」深瀬泰旦『新薬と治療』54 (2) 31-33

- 「近代医学教育の夜明け 第5話 その後の西洋医学所」深瀬泰旦『新薬と治療』54 (4) 33-35
- 「近代医学教育の夜明け 第6話 お玉ヶ池種痘所と漢蘭折衷医」深瀬泰旦『新薬と治療』54 (6) 33-37
- 「医学館の軌跡—考証医学の拠点形成をめぐる—」町泉寿郎『杏雨』(7) 35-927

05 医師会・学会

- 「汎太平洋外科学会 (PPSA) —日本支部の歴史 (History of PPSA-Japan Chapter) (英語)」Wadajuro Jerry『薬理と臨床』14 (1) 57-59
- 「広島原爆投下時の県並びに市医師会長の活動について (抄)」江川義雄『日本医史学雑誌』50 (1) 90-91
- 「GHQ 占領期における医師会の設立・加入体制の構築経緯」神里 (所) 彩子『日本医史学雑誌』50 (2) 243-274
- 「日本口腔科学会の生いたち」佐々木元賢『臨牀と研究』81 (3) 青ページ 5-6
- 「乳幼児身体発育値の変遷と日本小児保健学会の歩み」高石昌弘『小児保健研究』63 (増刊) 30-37
- 「日本病院薬剤師会創立 50 周年 日本病院薬剤師会の歴史激動の 1998 年」平野公晟『Journal of Japanese Society of Hospital Pharmacists』40 (12) 1535-1536
- 「労働衛生史研究会の歩みと今後の課題 (第 1 回) 第 50 回

の演題分析を中心として (抄)」堀口俊一『産業衛生学雑誌』46 (4) 122

- 「黎明期における日本歯科医学会史 日本歯科医学会沿革概要 (大正 12 年 3 月刊) より (抄)」山口秀紀、渋谷鉦、谷津三雄『日本歯科医師会雑誌』57 (4) 420
- 「日本神経心理学会の歩み 回顧と展望」山鳥重『神経心理学』20 (3) 157-163

06 医史学一般

- 「医史百年 20 世紀の医学・医療をふり返る 84 わが国の近代臨床疫学の礎・麦飯男爵高木兼寛先生は多才の士 縣俊彦『日医ニュース』(1024) 4
- 「健康文化事始 関西エリアの先駆者達」新井節男『スポーツ科学・健康科学研究』(7) 1
- 「江戸の生活と働く人 江戸で働く 江戸の医者」石川英輔『働く人の安全と健康』55 (10) 988-989
- 「アレルギー学と免疫学の関わり 歴史的背景と将来の展望 (抄)」石坂公成『アレルギー』53 (8-9) 768
- 「アルコールと生活習慣病 日本人とお酒の歴史」石光敏行『成人病と生活習慣病』34 (11) 1403-1406
- 「不易流行 ホルモン研究の今昔」井村裕夫『Molecular Medicine』41 (2) 240-242
- 「医史百年 20 世紀の医学・医療をふり返る 86 輸液の歴

- 史」岡田正『日医ニュース』(1027) 4
- 「老人医学は人類にプラスになったか 老人医学の歴史と展望」折茂肇『日本老人医学会雑誌』41 (6) 629-632
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 81 わが国における食品衛生化学の発展」貝瀬利一『日医ニュース』(1018) 4
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 79 MRIの歴史…画像診断の革命児、大いなる可能性を秘めて」片山仁『日医ニュース』(1016) 4
- 「若き小児神経科医へのメッセージ ノーベル賞の歴史に学ぶ」鴨下重彦『脳と発達』36 (2) 106-113
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 88 第3のがん治療」木村修治『日医ニュース』(1029) 4
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 82 経腸栄養の昔」木村信良『日医ニュース』(1021) 4
- 「“健康ことわざ”を診断すれば…②3つ子の魂百まで」久保千春『きょうの健康』(194) 49
- 「“健康ことわざ”を診断すれば…③笑う門には福来たる」久保千春『きょうの健康』(196) 53
- 「『日本書紀』の中の身体に関わる表現(抄)」計良吉則『日本医史学雑誌』50 (1) 156-157
- 「医学こぼれ話⑩屠蘇」酒井シヅ『きょうの健康』(190) 80
- 「医学こぼれ話⑪-⑫西洋医学への扉『解体新書』(その一—二)」酒井シヅ『きょうの健康』(191-192) 133, 85
- 「医学こぼれ話⑬お産の話」酒井シヅ『きょうの健康』(193) 67
- 「医学こぼれ話⑭菖蒲湯」酒井シヅ『きょうの健康』(194) 67
- 「医学こぼれ話⑮疱瘡の流行」酒井シヅ『きょうの健康』(195) 67
- 「医学こぼれ話⑯麻疹の流行」酒井シヅ『きょうの健康』(196) 67
- 「医学こぼれ話⑰癩のはなし」酒井シヅ『きょうの健康』(197) 67
- 「医学こぼれ話⑱導引の話」酒井シヅ『きょうの健康』(198) 107
- 「医学こぼれ話⑲脈診のはなし」酒井シヅ『きょうの健康』(199) 59
- 「医学こぼれ話⑳神農祭」酒井シヅ『きょうの健康』(200) 75
- 「医学こぼれ話㉑厄払い」酒井シヅ『きょうの健康』(201) 71
- 「江戸の病とくすり文化」酒井シヅ『かていやく』(75) 4-6
- 「江戸の思い・現代の病 No.1 「疝気」と「癩」」酒井シヅ『ヘルシスト』28 (2) 14-15
- 「江戸の思い・現代の病 No.2 脚気」酒井シヅ『ヘルシスト』

- 28 (3) 28-29
「江戸の患い・現代の病 No.3 麻疹 (はしか)」酒井シヅ『ヘルシスト』28 (4) 32-33
「江戸の患い・現代の病 No.4 ころも・はら・あたま」酒井シヅ『ヘルシスト』28 (5) 20-21
「江戸の患い・現代の病 No.5 疳と溜飲」酒井シヅ『ヘルシスト』28 (6) 28-29
「宝探しにも似た医学史研究」酒井シヅ、鈴木隆雄『JOINT』(11) 2-5
「リンパ学研究史瞥見」佐藤裕『臨床外科』59 (9) 1164-1165
「医療史回遊紀行 産業医の先駆けとなった江戸時代の旅行家 菅江真澄」篠田達明『GPnet』51 (1) 66-67
「医療史回遊紀行 鎌倉時代の僧医梶原性全が著した医学書『頓医抄』」篠田達明『GPnet』51 (2) 62-63
「医療史回遊紀行 幕末の西本願寺で行われた新選組の健康診断」篠田達明『GPnet』51 (3) 52-53
「医療史回遊紀行 レーガン元大統領に発症したアルツハイマー病」篠田達明『GPnet』51 (5) 74-75
「医療史回遊紀行 釈迦の涅槃像に見る右側臥位」篠田達明『GPnet』51 (6) 72-73
「医療史回遊紀行 太閤秀吉の臨終を看取った侍医団」篠田達明『GPnet』51 (7) 72-73
「医療史回遊紀行 明治の思想家福沢諭吉が実行した健康法」篠田達明『GPnet』51 (8) 70-71
「医療史回遊紀行 聖徳太子夫妻を斃した古代の疫病」篠田達明『GPnet』51 (9) 70-71
「医療史回遊紀行 幕末のブラックジャック松本良順」篠田達明『GPnet』50 (11) 74-75
「医療史回遊紀行 福沢諭吉が九死に一生を得た腸チフス」篠田達明『GPnet』50 (12) 74-75
「医療史回り舞台 芭蕉を悩ませた持病」篠田達明『整形・災害外科』47 (1) 77
「医療史回り舞台 『李陵』の作家中島敦の喘息発作」篠田達明『整形・災害外科』47 (2) 181
「医療史回り舞台 新選組局長近藤勇の神経性胃炎」篠田達明『整形・災害外科』47 (3) 275
「医療史回り舞台 “伊達騒動”の起因を解明した整形外科医の快挙」篠田達明『整形・災害外科』47 (4) 386
「医療史回り舞台 リンカーンのマルファン症候群・後日譚」篠田達明『整形・災害外科』47 (6) 778
「医療史回り舞台 慶長遣欧使節支倉常長の運命」篠田達明『整形・災害外科』47 (8) 992
「医療史回り舞台 アルツハイマー病を発見したアルツハイマー博士」篠田達明『整形・災害外科』47 (9) 1087
「医療史回り舞台 平安時代の白内障手術」篠田達明『整形・災害外科』47 (11) 1374

- 「医療史回り舞台 万葉歌人 山上憶良を悩ませた全身関節痛」篠田達明『整形・災害外科』47 (12) 1478
- 「億川家資料について (抄)」芝哲夫『医譚』(98) 68-69
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 93 麻疹—20世紀における季節性の変化」鈴木晃仁『日医ニュース』(1036) 4
- 「明治前期官営産業施設のフランス人医師について—産業医勤務体制の確立」須長泰一『日本医史学雑誌』50 (3) 371-389
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 89 民族疫学への志向 日本民族とアンデス先住民族の接点」田島和雄『日医ニュース』(1030) 4
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 83 「子宮がん放射線療法の歴史」—はじめの10年間—」館野之男『日医ニュース』(1022) 4
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 91 日本における狂犬病の歴史」唐仁原景昭『日医ニュース』(1032) 4
- 「長寿・消化器・食の歴史探訪 V.平安時代、VI.鎌倉時代」中澤三郎『老年消化器病』16 (1) 61-67
- 「長寿・消化器・食の歴史探訪 南北朝、室町時代、安土・桃山時代 (1338-1602)」中澤三郎『老年消化器病』16 (2) 139-144
- 「原典でみる先駆者たち⑤電子伝達蛋白シトクロムの発見と再発見」中山宏明『ミクロスコピア』21 (1) 45-48
- 「原典でみる先駆者たち⑥1遺伝子1酵素仮説の濫觴」中山宏明『ミクロスコピア』21 (2) 119-121
- 「原典でみる先駆者たち⑦極限環境で生きる生物と出会う—好アルカリ性細菌の場合」中山宏明『ミクロスコピア』21 (3) 217-219
- 「原典でみる先駆者たち⑧がんウイルスの存在を示す」中山宏明『ミクロスコピア』21 (4) 295-297
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 87 新生児医療の今昔」馬場一雄『日医ニュース』(1028) 4
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 80 農村医学の新しい課題」原田正純『日医ニュース』(1017) 4
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 90 コロトコフと聴診による血圧測定」藤倉一郎『日医ニュース』(1031) 4
- 「健康をめぐる歴史パノラマ 健康の定義」真壁伍郎『総合看護』39 (3) 17-28
- 「ケニアの医療に関する史的考察 (抄)」牧純『日本薬学会124年会講演要旨集』(3) 212
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 92 20世紀の白内障手術の変遷」三島濟一『日医ニュース』(1034) 4
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 85 大気汚染物質による多岐にわたる健康影響」吉田成一『日医

ニュース』(1026) 4

07 医の倫理

「【生と死と倫理】バイオエシックスの「歴史的回顧」大林雅之『保健の科学』46 (2) 85-88

「医の倫理の標語「医は仁術なり」について(抄)」関根透『日本歯科医療管理学会雑誌』39 (1) 43

「医の倫理の標語と上田秋成の医療観」関根透『日本歯科医療管理学会雑誌』38 (4) 274-278

「みんなのやさしい生命倫理 インフォームド・コンセント インフォームド・コンセントの歴史(2)」谷田憲俊『葉のチェックは命のチェック』(16) 42-45

「医の倫理の史実を探る」中西淳朗『大阪保険医雑誌』(448) 29-33

「医の倫理の歴史的展望と臨床検査残存検体取扱い」吉田浩『臨床病理』52 (3) 231-235

08 医療器械

「【縦隔鏡】縦隔鏡の歴史と普及」丹羽宏『気管支学』26 (5) 407-413

「消化管内視鏡の発展を辿る その十一 ファイバースコープの国産化」丹羽寛文『ミクروسコピア』21 (1) 48-52

「消化管内視鏡の発展を辿る その十二 食道鏡と食道ファイバースコープ」丹羽寛文『ミクロスコピア』21 (2) 132-136

「消化管内視鏡の発展を辿る その十三 パンエンドスコープの登場」丹羽寛文『ミクロスコピア』21 (3) 222-226

「消化管内視鏡の発展を辿る その十四 内視鏡画像記録の発展」丹羽寛文『ミクロスコピア』21 (4) 301-306

09 医療制度史・医療史

「Drop by Drop: The Introduction of Western Distillation Techniques into Seventeenth-Century Japan Drop by Drop: The Introduction of Western Distillation Techniques into Seventeenth-Century Japan」MICHEL, Wolfgang, WERGER-KLEIN, Elke『日本医学雑誌』50 (3) 463-492

「結核予防対策の組織化と全国結核予防連合会」青木純一『医学史研究』(85) 1-10

「明治期における医師免許制度の変遷—免許取得資格よりみた石川県の医師数の推移を中心として—」赤祖父一知、今井美和『北陸医史』25 (1) 10-20

「十五年戦争と日本民族衛生学会(協会)(その2)一学会活動と「国民優生法」の制定(抄)」蒔昭三『日本医学雑誌』

- 誌』50 (1) 92-93
- 「アメリカの医療制度のその現場 アメリカの病院と医師の歴史」河野圭子『Modern Physician』24 (10) 1641-1645
- 「社会福祉方法論の歴史的展開」杉山章子『社会福祉方法論』55-72
- 「「保発4号」の謎を追って (3)」添田均『医道の日本』63 (2) 168-176
- 「「保発4号」の謎を追って」添田均『医道の日本』63 (9) 165-170
- 「まちづくり思想と医療の関連性の考察 (その4) (抄)」西卷明彦『日本歯科医史学会々誌』25 (4) 198
- 「「旅行用心集」と「江ノ島もうで、浜のさゝ波」の医療思想比較検討 (抄)」西卷明彦、屋代正幸『日本歯科医史学会々誌』25 (4) 200
- 「日本赤十字社に関する医療史的考察」野村拓『医学史研究』(85) 20-26
- 「明治15年施行の旧刑法256条「私ニ医業ヲ為ス罪」と大審院での判決事例 (抄)」樋口輝雄『日本医史学雑誌』50 (1) 158-159
- 「いのちの輝き (医療と宗教) (抄)」福井光壽『日本歯科医史学会々誌』25 (4) 195
- 「実証は覚えていた (1、4-6、8)」正木繁『いずみ』51 (1、5-7、10) 20-22, 20-21, 20-21, 18-19, 20-21

10 衛生・公衆衛生史・予防医学

- 「癌 疫学研究の黎明期と最近の50年」青木國雄『癌の臨床』50 (8) 591-598
- 「黎明期の婦人労働」石津澄子『労働科学』80 (1) 23-29
- 「検疫所 (Quarantine Office=40日の役所) の由来」海老沢功『日本病院会雑誌』51 (1) 153-155
- 「【ワクチン】ワクチンの歴史とその人類への貢献」加藤四郎『総合臨床』53 (6) 1823-1825
- 「粉塵衛生のあゆみ (第1報) 1960年 (昭和35年) 頃まで」木村菊二『労働科学』80 (1) 12-22
- 「粉塵衛生のあゆみ (第2報) 1960年 (昭和35年) 以降」木村菊二『労働科学』80 (2) 57-70
- 「予防接種 コレラと公衆衛生」黒澤サト子『助産師』58 (3) 72-74
- 「明治初期の衛生学の先駆者たち (抄)」酒井シヅ『日本衛生学雑誌』59 (2) 84
- 「麻疹の周期性と近代日本の疫病伝播の分析 (抄)」鈴木晃仁『日本医史学雑誌』50 (1) 56-57
- 「ある角度から見た山口県労働衛生史 (抄)」田村陽一『産業衛生学雑誌』46 (2) 64
- 「GIS及びGPS技術の衛生学における応用 日常生活の民族誌とGIS研究 大正10年「月島調査」(内務省衛生局)を例に (抄)」津村宏臣『日本衛生学雑誌』59 (2) 209

- 「資料・植民地時代の東南アジア各地の医療保健制度 4. 佛蘭西領印度支那における医療保健制度」寺畑喜朔『医譚』(98) 44-49
- 「大正期東京市における腸チフスの地区別分析 (抄)」永島剛『日本医史学雑誌』50 (1) 66-67
- 「産業医学いまむかし (14) 産業医学と軍医たち」野村茂『労働の科学』59 (2) 94-95
- 「産業医学いまむかし (15) 労働とエネルギー代謝測定」野村茂『労働の科学』59 (3) 156-157
- 「産業医学いまむかし (16) 炭坑囚人労働と医師たち」野村茂『労働の科学』59 (4) 220-221
- 「産業医学いまむかし (17) 明治の産業と伝染病と」野村茂『労働の科学』59 (5) 292-293
- 「産業医学いまむかし (18) 産業眼科学のはじめ」野村茂『労働の科学』59 (6) 352-353
- 「産業医学いまむかし (19) 職業性炭疽症のこと」野村茂『労働の科学』59 (7) 414-415
- 「産業医学いまむかし (20) 災害外科から産業外科に」野村茂『労働の科学』59 (8) 476-477
- 「産業医学いまむかし (21) 化繊工業と二硫化炭素中毒」野村茂『労働の科学』59 (9) 546-547
- 「産業医学いまむかし (22) 職業労働と耳鼻咽喉疾患」野村茂『労働の科学』59 (10) 608-609

- 「産業医学いまむかし (23) ヨロケ・珪肺・じん肺」野村茂『労働の科学』59 (11) 676-677
- 「産業医学いまむかし (24) 占領下日本の労働衛生」野村茂『労働の科学』59 (12) 734-735
- 「ワクチンのすべて ワクチン総論 ワクチンの歴史」平山宗宏『小児科診療』67 (11) 1769-1774
- 「職場のメンタルヘルス その歴史と今日の問題」廣尚典『精神医学』46 (5) 460-472
- 「『横手社会衛生叢書』のひとびと」水野洋『医学史研究』(84) 247-253
- 「戦後期に発生した予防接種後の四つの接種結核事故について (抄)」渡部幹夫『日本医史学雑誌』50 (1) 68-69

11 解剖学史

- 「『解體約圖』についての追記」石田純郎『医譚』(98) 14
- 「『解剖学表』(『解体新書』の原著、いわゆる「ターヘル・アナトミア」) 異版の研究—第一報 (抄)」石田純郎『日本医史学雑誌』50 (1) 36-37
- 「解剖学という領域を考える—一京都で国際解剖学会議をお世話して—」井出千束『ミクロスコーピア』21 (4) 262-265
- 「篤志解剖第一号「美幾女 (みきじょ)」について」上野陽里『医学史研究』(84) 263-268
- 「解体新書の謎 22-31 ターヘル・アナトミア翻訳」大城孟

- 『大塚葉報』(592-601) 49-54, 63-68, 67-72, 63-68, 53-58, 67-71, 67-71, 67-71, 67-7149-53
- 「東京都内・近郊所在 19 遺跡から出土した江戸時代人頭蓋・四肢骨の計測値」梶ヶ山真里、溝口優司『Anthropological Science (Japanese Series)』112 (1) 37-57
- 「生と死の目差し—シャレコーベの世界」河本圭司、鈴木隆雄『JOINT』(10) 2-5
- 「腎臓の探究史 傍糸球体装置の発見」坂井建雄『腎臓』27 (2) 115-119
- 「ガレノスとヴェサリウスの解剖学の比較研究 (3) —門脈を例にとって (抄)」坂井建雄『日本医史学雑誌』50 (1) 38-39
- 「大分県東国東郡安岐町の卷子本解體約拝見記」佐藤允男『医譚』(98) 6-13
- 「神経の歴史散策 (その 1) 神経の発見」高垣玄吉郎『ミクロスコピア』21 (4) 280-283
- 「フランスから来た紙塑人体模型と明治初期日本における人体解剖模型製作の開始 (抄)」月澤美代子『日本医史学雑誌』50 (1) 120-121
- 「ニューロンの不思議をみつめて—神経の組織培養から 50 年—」中井準之助『ミクロスコピア』21 (1) 9-17
- 「中世人頭蓋における性別判定について (抄)」長岡朋人、

- 平田和明『聖マリアンナ医科大学雑誌』32 (3) 200
- 「からだの不思議 平成珍解体新書 解剖学の歴史」矢間太『看護学生』52 (1) 42-44

12 眼科史

- 「青錐体と視覚情報処理 Short Wavelength Automated Perimetry (SWAP) の歴史的展望 (A Historical Perspective of Short Wavelength Automated Perimetry (SWAP)) (英語) (抄)」Johnson Chris A.『日本眼科学会雑誌』108 (臨増) 141
- 「感覚器官の異常と診療 メガネの進歩」岡本隆博『総合臨床』53 (10) 2624-2628
- 「京都府立医科大学歴代眼科教授の講義録から (抄)」奥沢康正『医譚』(98) 59-61
- 「近代白内障手術の変遷と小院での日帰り手術 (抄)」鈴木高遠、千種浩司『日本医史学雑誌』50 (1) 164-165
- 「文庫の窓から 「養生訓」と目の衛生」中泉行史、中泉行弘、斎藤仁男『臨床眼科』58 (2) 228-229
- 「白内障手術の世界への伝播の物語」三島済一『ほすびたるらいぶりあん』29 (4) 264-269
- 「緑内障薬物療法の過去・現在・未来 (抄)」三嶋弘『Frontiers in Glaucoma』5 (4) 228-229

13 看護史

「【看護大学創立50周年】東京大学医学部衛生看護学科発足の頃」今村節子『保健の科学』46(4) 246-249

「保良せきと第二次世界大戦後の看護改革」大石杉乃、芳賀佐和子『東京慈恵会医科大学雑誌』119(4) 303-313

「GHQによる看護改革の流れ—GHQ看護課 G.E.Alt 課長に対する協調と対立の構図(2)(抄)」大石杉乃『日本医史学雑誌』50(1) 26-27

「明治期の福岡県における産婆教育の実態 産婆に関する法制、産婆数の変遷から」緒方妙子『九州看護福祉大学紀要』6(1) 57-70

「京都看病婦学校設立当初の学校規則の紹介」岡山寧子、竹中京子、依田和美『日本看護歴史学会誌』(17) 43-49

「ウィリアム・メレル・ヴォーリズと近江療養院」小倉之子『日本看護歴史学会誌』(17) 50-57

「第二次世界大戦後のGHQによる病院看護部設置に関する政策の山形県における展開過程」片桐智子、平塚朝子『日本看護歴史学会誌』(17) 21-33

「【看護大学創立50周年】看護教育を大学教育にすることについてのいくつかの話し合い」金子光『保健の科学』46(4) 236-238

「看護婦でない人々によって語られた「看護」「看護婦」について—明治期の女性誌を中心に—」上坂良子『医学史

研究』(85) 27-38

「『保健婦雑誌』52年の軌跡から 保健婦活動の原点・家庭訪問 歴史的変遷からみえてきたこと」北岡英子『保健師ジャーナル』60(2) 186-192

「看護婦でない人々によって語られた「看護」「看護婦」について 明治期の女性誌を中心に」上坂良子『医学史研究』(85) 309-320

「『保健婦雑誌』52年の軌跡から 「講座」にみる保健婦の専門性」三枝将史『保健師ジャーナル』60(4) 408-412

「GHQ 地方軍政部が北海道、東京地区での看護教育に果たした役割(抄)」佐藤公美子、坪井良子『日本看護学教育学会誌』14,262

「看取りの文化とその歴史」新村拓『日本看護歴史学会誌』(17) 13-19

「スザンヌ・ゴードンのアメリカ医療・看護最新事情 “看護の沈黙” の謎を解く 19世紀の看護」スザンヌ・ゴードン『ナーシング・トゥデイ』19(1) 42-43

「脳の話 看護のための生理学(第12回)」瀬江千史『総合看護』39(1) 55-61

「看護学教育における看護倫理教育の変遷(抄)」高橋みや子『日本看護学教育学会誌』14, 45-46

「近代における看護管理者の名称・職務の変遷(抄)」滝内隆子『神奈川医学会雑誌』31(2) 166-167

「近代日本における看護制度の変遷について 京都の事例から」滝下幸栄、岩脇陽子、山本容子、倉ヶ市絵美佳、福本恵、岡山寧子『京都府立医科大学看護学科紀要』13 (2) 63-70

「フロレンス・ナイチンゲールに関する建築学上の評価『病院覚え書』を中心に」谷口元『総合看護』39 (3) 5-13

「【看護大学創立 50 周年】看護教育の発展の歩みと今後の課題」田村やよひ『保健の科学』46 (4) 278-284

「沖縄の男性看護職の歴史と現況」仲本勉『日本看護歴史学会誌』(17) 58-63

「日本で最初の看護婦留学生とセント・トマス病院 (抄)」芳賀佐和子、住吉蝶子、平尾真智子『日本医史学雑誌』50 (1) 28-29

「看護歴史研究入門 1 なぜ看護者は自分たちの歴史を研究する必要があるのでしょうか」平尾真智子『看護実践の科学』29 (8) 77-79

「看護歴史研究入門 2」看護歴史研究の意義」平尾真智子『看護実践の科学』29 (9) 78-80

「看護歴史研究入門 3-4 テーマの見つけ方 (1-2)」平尾真智子『看護実践の科学』29 (10-11) 88-90, 77-78

「看護歴史研究入門 5-6 歴史研究の方法 (1-2)」平尾真智子『看護実践の科学』29 (12-13) 77-79, 69-71

「【看護大学創立 50 周年】衛生看護学科のできた頃」福田邦

三『保健の科学』46 (4) 238-240

「『保健婦雑誌』52年の軌跡から 保健婦教育の変遷」守田孝恵、松井美帆『保健師ジャーナル』60 (1) 86-93

「【看護大学創立 50 周年】四年制大学における看護教育の開始とその歩み 高知女子大学」山崎智子『保健の科学』46 (4) 241-245

「京都看病婦学校で開始された看護教育の概要」依田和美『大阪府立看護大学医療技術短期大学部紀要』9, 69-76

14 寄生虫学史

「【日本住血吸虫発見 100 年】日本住血吸虫発見 100 年を迎えて」石井明『医学のあゆみ』208 (2) 73

「日本住血吸虫病の病因発見から 100 年」石井明『ミクロスコピア』21 (1) 19-25

「日本住血吸虫発見 100 年」影井昇『日本医事新報』(4189) 43-45

「【日本住血吸虫発見 100 年】住血吸虫症の歴史と現状」松田肇、桐木雅史『医学のあゆみ』208 (2) 74-78

16 軍陣医学史

「病院の歴史における軍病院と検疫所」加辺純雄『防衛衛生』51 (7/8) 229-236

「旅行医学と軍事医学の歴史」加辺純雄『防衛衛生』51

(1/2) 33-39

「謎に包まれた八甲田雪中行軍 とくに山口少佐の死因を中心として (抄)」松木明知『泌尿器外科』17 (臨増) 467

「八甲田雪中行軍の謎 歩兵第五連隊山口少佐の死因を探る」松木明知『日本看護歴史学会誌』(17) 3-12

17 形成外科学史

「世代相伝の形成外科 手の外科と形成外科」児島忠雄『形成外科』47 (8) 929-935

18 外科史

「外科の世紀 近代外科のあけぼの」Thorwald Juergen『消化器外科』27 (1-2) 119-124, 243-248

「人工臓器と温故知新 初期の心臓外科から人工心肺、人工弁の変遷 (抄)」新井達太『人工臓器』33 (2) 105

「乳癌 外科療法から見た50年」泉雄勝『癌の臨床』50 (8) 629-636

「華岡青洲以降明治中期までの乳癌手術と麻酔について」泉雄勝『乳癌の臨床』19 (4) 329-334

「千葉大学第二外科が歩んできた食道外科の歴史と実績 (抄)」磯野加一『千葉医学雑誌』80 (4) 1-2

「直腸癌 外科治療から見た50年」小山靖夫『癌の臨床』

50 (8) 637-649

「明治8年の乳腺症手術」酒井シヅ『Mamma』(47) 表2

「江戸での乳癌手術」酒井シヅ『Mamma』(48) 表2

「癌の原因と転移説の始まり」酒井シヅ『Mamma』(49) 表2

「鶴見大学図書館所蔵の紅毛流膏葉集と紅毛流膏方について (抄)」中西淳朗『日本医史学雑誌』50 (1) 166-167

「【実践皮膚科外用療法マニュアル】外用療法の歴史」中村元信『Derma.』(82) 1-5

「原著を探る 脳動静脈奇形の最初の手術」橋本信夫『Clinical Neuroscience』22 (5) 622

「杉田五卿と江戸における文化10年の乳癌手術 (抄)」松木明知『日本医史学雑誌』50 (1) 126-127

「肺癌 外科療法から見た50年」渡邊洋宇『癌の臨床』50 (8) 617-628

19 細菌学史

「細菌・ウイルス名の由来と歴史」渡邊邦友『Medical Digest』53 (1) 32-36

20 産婦人科史

「助産婦の歴史 近代の助産婦 (その215) - (その226)」石原力『ペリネイタルケア』23 (3) 90-91, 170-171, 284-

285, 384-385, 468-469, 555-557, 644-645, 730-731, 814-815, 914-915, 1011-1013, 1092-1093

「生殖医療 その夜明けから未来へ 卵子の発見まで」鈴木秋悦『産婦人科治療』88 (5) 1172-1174

「フライブルク大学と北海道大学医学部との産婦人科・新生児領域における交流の歴史 (抄)」鈴木重統、宮下舜一『日本医史学雑誌』50 (1) 20-21

「中国古代・中世における逐月胎児説の変遷」鈴木千春『日本医史学雑誌』50 (4) 569-589

「青い血のカルテ 王女シャーロットの死産と三重の悲劇」早川智、山本樹生『産科と婦人科』71 (2) 228-231

21 歯学史

「スポーツ歯科医人伝第2報 八木清三郎先生」石川慎士、片山孝太郎、糸賀裕『日本歯科医史学会々誌』25 (3) 117-125

「歯科医師死因の推移—一般日本国民の死因と比較して— (抄)」石橋肇、加來洋子、渋谷鉦、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』25 (4) 217

「江戸から明治期における歯磨きのラベルと引札 (抄)」石橋肇、渋谷鉦、谷津三雄『日本歯科医師会雑誌』57 (4) 421

「近代歯科医学発祥の地横浜 イーストレーキの謎 (抄)」大野肅英、青山繁、伊佐常樹、鈴木彰、羽坂勇司、加藤

木健『日本歯科医師会雑誌』57 (4) 392

「歯科医師死因の推移 (第2報) —特に49歳以下の若年者について— (抄)」加來洋子、石橋肇、渋谷鉦、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』25 (4) 218

「自衛隊歯科医官50年史と特にその黎明期について (抄)」片山幸太郎『日本歯科医師会雑誌』57 (4) 421

「海軍歯科医科士官制度の概要」久保親弘『防衛衛生』51 (11) 297-304

「はじめて歯科を専門とした海軍軍医原田朴哉について 日露戦争における、原田と、海軍嘱託歯科医の活躍」久保親弘、中島英之『防衛衛生』51 (3/4) 71-79

「歯科放射線の歴史を楽しむ パノラマ戦国時代の思い出 (抄)」古跡養之真『歯科放射線』44 (2) 123-124

「一戦中派臨床歯科医師から見た戦後60年間 (抄)」齋藤貞雄『日本歯科医史学会々誌』25 (4) 193-194

「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 丸森賢二 (1921-2002)」榊原悠紀田郎『The Quintessence』23 (1) 111-113

「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 国本朝雄」榊原悠紀田郎『The Quintessence』23 (2) 91-93

「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 深田英朗 (ふかだひであき) (1918-2003)」榊原悠紀田郎『The Quintessence』23 (3) 627-629

「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 佐藤貞勝 (1917-2003)」

- 榊原悠紀田郎『The Quintessence』23 (4) 95-97
「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 村岡博」榊原悠紀田郎
『The Quintessence』23 (5) 1063-1065
「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 松風憲二 (1895-1967)」
榊原悠紀田郎『The Quintessence』23 (6) 1261-1263
「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 石原寿郎 (1917-1969)」
榊原悠紀田郎『The Quintessence』23 (7) 1467-1469
「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 辻本春男 (1901-1988)」
榊原悠紀田郎『The Quintessence』23 (8) 1705-1707
「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 石上健次 (1917-1998)」
榊原悠紀田郎『The Quintessence』23 (9) 1919-1921
「石塚三郎旧蔵・新潟県歯科医師会誌—草創期の歯科界を
探る [その3-5] —」佐藤泰彦『日本歯科医学学会誌』
25 (4) 235-248, 249-255, 256-262
「インプラントの歴史」塩田真『歯科技工』別冊インプラ
ントの技工, 43
「戦後混乱期における日本訪中医学代表団の中国との国交外
交の役割 (抄)」白川正順『日本歯科医学学会誌』25
(4) 201
「木床義歯の創造 (抄)」新藤恵久『日本歯科医学学会誌』
25 (4) 216
「木床義歯の母胎 (抄)」新藤恵久『日本歯科医学学会誌』
25 (4) 215

- 「仙台市内住宅地における36年間の歯科医療の環境変化—
歯科診療所の実態から—」杉本是孝、宮崎佐喜子、中山
孝子『日本歯科医学学会誌』25 (3) 133-142
「下北半島浜尻屋貝塚出土中世小児人骨の歯冠形質」鈴木敏
彦、澤田純明、百々幸雄、小山卓臣『Anthropological
Science (Japanese Series)』112 (1) 27-35
「創立90周年を迎えた九州歯科大学の創設者國永正臣の生
涯 (抄)」竹原直道『日本歯科医師会雑誌』57 (4) 421
「「正法念処経」が描く抜歯・抜舌について」竹原直道『日
本歯科医学学会誌』25 (4) 222-229
「「類聚方広義」にみられる外科思想 (抄)」陶粟爛、西卷明
彦『日本歯科医学学会誌』25 (4) 220
「医学館の考試記録に表れた重舌並びに痰包について (抄)」
戸出一郎、佐藤恭道、深山治久『日本歯科医学学会誌』
25 (4) 221
「咬合器の歴史における偉大な功績とその陥凹 Bonwill 咬
合器から Stuart 咬合器まで (抄)」永田和弘『日本補綴
歯科学会雑誌』48 (2) 329
「咬合器の歴史における偉大な功績とその陥凹 (抄)」永田
和弘『日本歯科医学学会誌』25 (4) 205
「「口歯類要」に関する考察 (その2) (抄)」西卷明彦、陶
粟爛、屋代正幸、藤野瑠男、湯浅高行『日本歯科医学学
会誌』25 (4) 219

- 「S.S.White 社の "Dental Catalogue" 1867 年版と 1876 年版について (抄)」樋口輝雄『日本歯科医史学会々誌』25 (4) 202
- 「Chapin A. Harris の著書 "Principles and Practice of Dental Surgery" 中に記載された歯科補綴学 (抄)」平田幹男『日本歯科医史学会々誌』25 (4) 206
- 「歯科放射線の歴史を楽しむ 第3回国際顎顔面放射線学会 (1974 京都への道) (抄)」藤木芳成『歯科放射線』44 (2) 123
- 「米国開業日本人第1号・ドクトルー井正典 その在米時代について (抄)」松本晋一、渋谷敦『日本歯科医師会雑誌』57 (4) 420
- 「幕末、明治期の英字新聞と Directory からみた外国人歯科医師の日本における動向について 1 Eastlake」松本康博『日本歯科医史学会々誌』25 (4) 230-234
- 「慶應義塾大学医学部予防歯科医学研究所について (抄)」水川秀海『日本歯科医史学会々誌』25 (4) 210
- 「人のフシギ・歯のフシギ 口腔からみるオモシロ人間生物学 歯ならばは、美人の条件 江戸時代迄の資料を用いて」茂木悦子『デンタルダイヤモンド』29 (1) 146-147
- 「歯科の歴史への招待 歴史遺産と史料を求めての旅 ヨーロッパにおける「スプリング付き陶製義歯」及び蒸和(加硫)ゴム床の登場入歯細工営業と歯科技工業」本平孝

志、内藤達郎『Quintessence of Dental Technology』29 (1) 120-128

「歯科の歴史への招待 歴史遺産と史料を求めての旅 人工歯の国産化に道を拓いた人荒木紀男」本平孝志、内藤達郎『Quintessence of Dental Technology』29 (2) 130-138

「歯科の歴史への招待 歴史遺産と史料を求めての旅 入歯細工営業と歯科技工業」本平孝志、内藤達郎『Quintessence of Dental Technology』29 (3) 420-429

「アメリカ歯科医史学会誌 50年の書誌学 (その2) 第3代編集長 Dr. Malvin E. Ring の時代 (抄)」森山徳長『日本歯科医史学会々誌』25 (4) 209

「日本海軍詩歌医科士官の歴史 [XIII] 歯科医科士官の役務 (抄)」山崎智『日本歯科医史学会々誌』25 (4) 207

「歯科放射線の歴史を楽しむ 歯科放射線学のパイオニア Charles Edmund Kells, Jr. (抄)」山崎岐男『歯科放射線』44 (2) 122-123

「歯科放射線の歴史を楽しむ 初期の日本歯科放射線学会と口内法 X 線撮影 (抄)」山本昭『歯科放射線』44 (2) 124

「病草紙に対する考察 (抄)」湯浅高行、藤野瑠男、屋代正幸『日本歯科医師会雑誌』57 (4) 421

22 史跡・記念碑

- 「新潟県西洋医学教育の嚆矢 J.P.I. VIDAL の碑除幕式 (抄)」
清水陽人『日本医史学雑誌』50 (1) 116-117
- 「ホルトルマン愛児の墓に関する資料」寺畑喜朔『北陸医史』
25 (1) 21-24

23 疾病史

- 「HISTORY 人名のついた疾患「原田病」」新家真『BIO Clinica』19 (10) 841-846
- 「【呼吸器感染のそこが知りたい】細菌性肺炎の変遷」石和田稔彦『小児内科』36 (1) 9-13
- 「原著を探る Ataxia telangiectasia」今井薫、大澤真木子
『Clinical Neuroscience』22 (12) 1460-1461
- 「自閉症研究の歴史と現在」大石聡『大阪府立精神医療センター紀要』14, 14-29
- 「急性ウイルス感染症 かぜ・インフルエンザ・SARS の診断と治療 インフルエンザの歴史」柏木征三郎『診断と治療』92 (12) 2223-2226
- 「スペインかぜ大流行 歴史に学ぶ」加地正郎『インフルエンザ』5 (1-4) 61-64, 161-169, 268-271, 347-351
- 「日本のコレラ その歴史と現状」加辺純雄『防衛衛生』51 (3-4 別冊) 1-8
- 「糖尿病の歴史 Lundbaek の著書「Long-Term Diabetes

- (1953)」葛谷健『肥満と糖尿病』3 (1) 186-189
- 「糖尿病の歴史 UGDP の成績とその波紋」葛谷健『肥満と糖尿病』3 (2) 351-356
- 「糖尿病の歴史 食事療法の変遷 インスリン発見以前の食事療法」葛谷健『肥満と糖尿病』3 (3) 535-539
- 「糖尿病の歴史 食事療法の変遷 インスリン発見の影響」葛谷健『肥満と糖尿病』3 (4) 717-721
- 「糖尿病の歴史 食事療法の変遷 プロタミン亜鉛インスリンの登場と「自由食」論争」葛谷健『肥満と糖尿病』3 (5) 908-914
- 「花柳病一性病一性感染症 その予防啓発の100年の歴史」熊本悦明『性と健康』(3) 4-18
- 「【日本におけるレジオネラ症～診断・治療と予防の新しい展開】レジオネラの歴史と発見の経緯」斎藤厚『化学療法の領域』20 (4) 550-553
- 「江戸の患い・現代の患い」酒井シヅ『銀行倶楽部』(469) 2-4
- 「頭痛の誕生と腹痛の変容」酒井シヅ『近代日本の身体感覚』83-102
- 「乳がんの歴史 第1回 古代の乳がん」酒井シヅ『乳癌の臨床』19 (2) 129-131
- 「乳がんの歴史 第2回 近世の乳がん治療の歴史」酒井シヅ『乳癌の臨床』19 (3) 245-247

- 「乳がんの歴史 第3回 本格的な乳がん手術が始まった時代」酒井シヅ『乳癌の臨床』19 (5) 467-469
- 「腎臓の探究史 リチャード・ブライトと腎臓病の始まり」坂井建雄『腎臓』26 (3) 283-287
- 「DICの新展開 DICの基礎疾患と病態 DICの歴史と微小循環障害」末松誠『医学のあゆみ』(別冊) 31-34
- 「乾燥症とシェーグレン シェーグレン症候群の歴史と疾患概念の確立」菅井進『医薬ジャーナル』40 (6) 1767-1771
- 「【多発性硬化症 revisited】多発性硬化症の歴史」高橋昭『Clinical Neuroscience』22 (7) 756-761
- 「Shy-Drager 症候群の歴史的展望 1970年以前」田村直俊、山元敏正、島津邦男『自律神経』41 (4) 392-400
- 「Shy-Drager 症候群の歴史的展望 1970年から2004年まで」田村直俊、山元敏正、島津邦男『自律神経』41 (4) 401-410
- 「【かぜとインフルエンザ】過去・現在・未来」檀原高『順天堂医学』50 (2) 149-154
- 「ネフローゼ症候群 基礎研究の最新動向と臨床の進歩 ネフローゼ症候群の歴史」二瓶宏、新田孝作、湯村和子『日本臨床』62 (10) 1773-1776
- 「二十世紀初頭のイエルサレムにおけるマラリア (抄)」馬場わか『日本医史学雑誌』50 (1) 46-47
- 「川本輝夫の水俣病史」原田正純『水俣病研究』3.188-200

- 「ハチアレルギーの歴史 アナフィラキシーの歴史とハチ刺されによる現状」平田博国、福田健『アレルギー・免疫』12 (1) 134-136
- 「結核の比較文化的研究 (抄)」福田真人『結核』79 (3) 135-136
- 「話題の感染症 野兔病」藤田博己『Modern Media』50 (5) 99-103
- 「骨疾患のルーツを探る 骨形成不全症」山下純英、清野佳紀『骨粗鬆症治療』3 (4) 358-359

24 耳鼻咽喉科史

- 「古典あれこれ 耳介学?の本」飯沼壽孝『JOHNS』20 (1) 122-124
- 「【人工中耳・人工内耳の今】人工内耳の歴史と種類」辻純『JOHNS』20 (1) 31-33
- 「古典あれこれ 溜まる場所と溜まるもの」廣瀬肇『JOHNS』20 (11) 1722-1725
- 「古典あれこれ 粘り強き人 Wallenberg」廣瀬肇『JOHNS』20 (12) 1846-1850
- 「古典あれこれ 溝をどうやって埋めるか」廣瀬肇『JOHNS』20 (7) 1014-1017
- 「【人工中耳・人工内耳の今】人工中耳の歴史と種類」柳原尚明『JOHNS』20 (1) 5-9

25 種痘史

「日中両国における人痘接種法の比較研究 A」邵沛『日本医学雑誌』50 (2) 187-222

「お玉ヶ池種痘所—その設立拠金者 82 名誤謬説の起源をさぐる (抄)」深瀬泰旦『日本医学雑誌』50 (1) 13-16

「お玉ヶ池種痘所—その設立拠金者 82 名誤謬説の起源をさぐる」深瀬泰旦『日本医学雑誌』50 (3) 405-427

「予防接種の拠点・お玉ヶ池種痘所の起源をさぐる」深瀬泰旦『川崎市小児科医会会誌』35. 3-17

26 獣医学史

「牛の臨床 55 年の回顧」五十嵐幸男『日本獣医学雑誌』(41) 1-31

「江戸期馬医方本草に登場する生薬に関する研究 (その 2) (抄)」市口幸治、林俊祐、畠山有里、松井桃子、乾真由美、宮本如奈、眞鍋智之、畠山朋子、畠山光弘『日本薬学会 124 年会講演要旨集』(3) 211

「江戸期馬医方本草に登場する生薬に関する研究 (抄)」臼井一城、市口幸治、林俊祐、畠山有里、乾真由美、松井桃子、宮本如奈、眞鍋智之、畠山朋子、畠山光弘『日本薬学会 124 年会講演要旨集』(3) 211

「家畜衛生の激動期を乗り切った信藤謙蔵博士」大橋義光『日本獣医学雑誌』(41) 67-70

「江戸時代の護蹄用具・装具について」折坂金弘『獣医学産新報』57 (1) 69-75

「仮名安駱集一、黄帝 81 問の 1 問より 5 問の「冷」について」木脇祐順『日本獣医学雑誌』(41) 71-72

「日本犬の保存について」倉林恵太郎『日本獣医学雑誌』(41) 58-63

「伝説・伝承の犬塚」小佐々学『日本獣医学雑誌』(41) 50-57

「獣医学小話 馬医と牛医」白水完児『獣医学産新報』57 (9) 714

「絵巻物にみる中世獣医学史料 (9)」中井薫『日本獣医学雑誌』(41) 73-77

「中世下馬考」中井薫『日本獣医学雑誌』(41) 78-82

「ノトバイオートおよび SPF 豚の作出に関する回顧」波岡茂郎『日本獣医学雑誌』(41) 64-66

「日本獣医学学会—設立の経緯と 30 年の歩み—」深谷謙二『日本獣医学雑誌』(41) 32-49

27 書簡

「池田文書の研究 (25) 入沢達吉の書簡について」池田文書研究会『日本医学雑誌』50 (4) 628-637

「フォン・ブランデンシュタイン家所蔵、1823 年シーボルト関係書簡の翻刻ならびに翻訳 (2)」宮坂正英、ベルン

ト・ノイマン、石川光庸『鳴滝紀要』(14) 13-62

28 書誌学

「馬王堆医書『養生方』の再検討(抄)」天野陽介、宮川浩也、花輪壽彦『日本医史学雑誌』50(1) 138-139

「医は意なり 范曄『後漢書』郭玉伝より」岩井祐泉『経絡治療』(158) 24-27

「『聖濟総録』鍼灸門所引の『甲乙経』について(抄)」上田善信『日本医史学雑誌』50(1) 80-81

「『范汪方』について(抄)」浦山きか『日本医史学雑誌』50(1) 140-141

「『衆方規矩』の編纂者の問題(抄)」遠藤次郎、中村輝子『日本医史学雑誌』50(1) 52-53

「唐代における『千金方』の形跡(抄)」郭秀梅『日本医史学雑誌』50(1) 146-147

「古医書のはなし③『史記』扁鵲倉公伝」小曾戸洋『漢方と鍼』28(4) 5

「盛文堂影印本 古典医書解題(3)」小曾戸洋『漢方療法』8(5) 350-354

「多紀家文書(北里医史研所蔵)の概要(抄)」小曾戸洋、町泉寿郎『日本医史学雑誌』50(1) 54-55

「蘇軾(東坡居士)を通して宋代の医学・養生を考える—古代の気候・疫病史を踏まえて『傷寒論』の校訂を考える」

小高修司『日本医史学雑誌』50(3) 349-370

「『野呂元丈著『狂犬咬傷治方』の全文について』の訂正および注」桜井謙介『北辰』(6) 16-27

「平安時代の医療・医心方について(抄)」塩原仁子、富岡貢、伊田喜光『日本薬学会124年会講演要旨集』(3) 211

「明治初年に瑞穂屋卯三郎と島村利助により出版されたドイツ・シュミット著書の翻訳“内科提綱”について(抄)」下総高次『日本歯科医史学会々誌』25(4) 213-214

「台湾国立中央図書館所蔵の医心方鈔本について(抄)」杉立義一『日本医史学雑誌』50(1) 154-155

「『今川義元伝書』における腹診の検討(抄)」鈴木達彦、遠藤次郎、中村輝子『日本医史学雑誌』50(1) 134-135

「『医学天正記』について(5)」高島文一『啓迪』(22) 1-8

「漫遊雑記について(その1)」高島文一『医譚』(98) 4-5

「吉益東洞『古書医言』引『心卵経』攷(抄)」館野正美『日本医史学雑誌』50(1) 168-169

「吉益東洞『医方古言』の文献学的研究—『古書医言』研究の一環として—」館野正美『宮澤正順博士古希記念 東洋—比較文化論集—』197-207

「『解体発蒙』に引用される中国医学古典(抄)」友部和弘、石野尚吾、花輪壽彦『日本医史学雑誌』50(1) 136-137

「大塚修琴堂本『印流医術書類』について(抄)」長野仁

- 『日本東洋医学雑誌』55 (別冊) 168
- 「究理堂「医箴」(資料)」橋本和夫『北陸医史』25 (1) 38-41
- 「亥鼻分館所蔵・医事文化資料について」樋口誠太郎『千葉医学雑誌』80 (5) 209-218
- 「ファブリカ・ポケット版(1552年刊)をめぐるオックスフォード大学との攻防(抄)」樋口輝雄、中原泉『日本歯科医史学会々誌』25 (4) 203-204
- 「手塚良斎「医学所御用留」(6)」深瀬泰旦『日本医史学雑誌』50 (2) 303-309
- 「手塚良斎「医学所御用留」(7)」深瀬泰旦『日本医史学雑誌』50 (4) 638-644
- 「『乳癌治験録』は華岡青洲の自筆ではない(抄)」松木明知『日本東洋医学雑誌』55 (別冊) 167
- 「満洲医科大学旧蔵古医籍の行方(抄)」真柳誠『日本医史学雑誌』50 (1) 152-153
- 「『中華医鍼様譜』について(抄)」宮川浩也、石野尚吾、花輪壽彦『日本医史学雑誌』50 (1) 72-73
- 「『鍼灸阿是要穴』について(抄)」宮川隆弘『日本医史学雑誌』50 (1) 82-83
- 「ベルツの北海道訪問と新史料「石狩紀行」(関場)(抄)」宮下舜一『日本医史学雑誌』50 (1) 106-107
- 「『千金方』に見られる唐以前諸家灸法について(抄)」吉岡

広記『日本医史学雑誌』50 (1) 76-77

29 小児科史

- 「韓国における小児神経学の歴史と発展 (History and Development of Child Neurology in Korea) (英語)(抄)」Chung Sajun『脳と発達』36 (Suppl) S77-S80
- 「台湾における小児神経学の歴史と発展 (History and Development of Child Neurology in Taiwan) (英語)(抄)」Shen Yu-Zen『脳と発達』36 (Suppl) S76
- 「起立性調節障害研究の歴史(抄)」阿部忠良『日本小児心身医学会 22回プログラム・抄録集』47
- 「三島通良の学校衛生構想—小児科学者としての三島通良」河内信子『教育保健研究』(13) 123-140
- 「臨床医からみた川崎病の歴史」黒岩翠『岐阜県内科医会雑誌』18 (1) 1-8
- 「『東洋思想と精神療法・精神病理』日本の子育て 臨床家のための文化的・歴史的視点」小嶋秀夫『精神療法』30 (1) 37-43
- 「歴史資料 坂本陽先生と白癩」鈴木榮、阪正和、伊東重光『現代医学』52 (1) 189-193
- 「人名のついた疾患「福山型先天性筋ジストロフィー」」戸田達史『BIO Clinica』19 (13) 1123-1131
- 「周産期から乳幼児期の環境と精神発達 新生児スクリーニ

- ングの30年」成瀬浩、山口清次『臨床精神医学』33 (11) 1453-1460
- 「わが国の小児保健の歴史」平山宗宏『小児保健研究』63 (増刊) 17-22
- 「鉛中毒の歴史に関する研究 (3) 平井毓太郎教授による「所謂脳膜炎」(宿題演説) (1925) に対する考察 (抄)」堀口俊一『産業衛生学雑誌』46 (臨増) 490
- ### 30 神経学史
- 「神経内科の文学散歩 バルザックの『ゴリオ爺さん』脳腫瘍」岩田誠『Brain Medical』16 (3) 263-266
- 「機能的脳神経外科の最前線 不随意運動 不随意運動外科治療の歴史と展望」大江千廣『Clinical Neuroscience』22 (11) 1280-1283
- 「Thomas Willis の Cerebri Anatome に見る中枢神経・機能発現の機序 (抄)」門田永治『日本医史学雑誌』50 (1) 42-43
- 「【初老期・老年期発症の Psychose】初老期・老年期の Psychose の歴史と現状」古茶大樹『精神科治療学』19 (3) 295-303
- 「【反射と臨床】反射検査の現代的意義 世界で使われている打腱器の種類」田代邦雄『Clinical Neuroscience』22 (8) 892-896

- 「目で見る神経内科 Botticelli と Babinski 徴候」田代邦雄『神経内科』60 (5) 567-569
- 「【反射と臨床】反射検査の現代的意義 反射の歴史」古川哲雄『Clinical Neuroscience』22 (8) 884-886
- 「原典・古典の紹介 Von Hippel-Lindau 病」古川哲雄『神経内科』60 (4) 443-447
- 「原典・古典の紹介 Brown-Sequard 症候群の感覚障害」古川哲雄『神経内科』61 (1) 107-110
- 「原典・古典の紹介 Gowers 型 distal myopathy の再々評価」古川哲雄『神経内科』61 (3) 298-300
- 「原典・古典の紹介 Wallenberg 症候群」古川哲雄『神経内科』61 (5) 492-496
- 「原著を探る 躁うつ病」松下正明『Clinical Neuroscience』22 (3) 346-349
- 「機能的脳神経外科の最前線 難治性てんかん てんかん外科の歴史と展望」真柳佳昭『Clinical Neuroscience』22 (11) 1240-1243
- ### 31 診断学史
- 「【医科器械のオリジナリティー】光学顕微鏡」片岡英二郎『医科器械学』74 (7) 344-349

32 整形外科史

- 「柔道整復の古為今用 接骨の変遷と医の倫理 (抄)」我部正彦『柔道整復・接骨医学』12 (3) 184-185
- 「柔道整復の古為今用 (抄)」我部正彦『柔道整復・接骨医学』12 (3) 183
- 「整形外科の歴史 79 19世紀後期から20世紀中期へフランス語圏諸国の整形外科の近代化—その他のパリ学派」蒲原宏『整形外科看護』9 (1) 90-92
- 「整形外科の歴史 80 19世紀後期から20世紀中期へフランス語圏諸国の整形外科の近代化—ベルク学派 カロの仕事と生涯」蒲原宏『整形外科看護』9 (2) 188-193
- 「整形外科の歴史 81 19世紀後期から20世紀中期へフランス語圏諸国の整形外科の近代化—ベルク学派—カルベの生涯と仕事」蒲原宏『整形外科看護』9 (3) 284-288
- 「整形外科の歴史 82 19世紀後期から20世紀中期へフランス語圏諸国の整形外科の近代化—ベルギーの整形外科の近代化①その他のパリ学派」蒲原宏『整形外科看護』9 (4) 398-401
- 「整形外科の歴史 83-84 19世紀後期から20世紀中期へフランス語圏諸国の整形外科の近代化— (9-10) ベルギーの整形外科の近代化②—③」蒲原宏『整形外科看護』9 (5-6) 490-494, 586-589
- 「整形外科の歴史 85-86 19世紀後期から20世紀中期へ—オ

ランダの整形外科の近代化—①—②」蒲原宏『整形外科看護』9 (7-8) 690-691, 792-796

- 「整形外科の歴史 87-88 19世紀後期から20世紀中期へ—スウェーデンの整形外科の近代化— (1-2) スウェーデンの整形外科の近代化—」蒲原宏『整形外科看護』9 (9-10) 888-891, 996-1002
- 「整形外科の歴史 89-90 19世紀後期から20世紀中期へ—スウェーデンの整形外科の近代化— (3-4) デンマークの整形外科の近代化」蒲原宏『整形外科看護』9 (11-12) 1102-1107, 1196-1197
- 「歴史を訪ねて 膝関節に名前を残す2人のフランス人 Gerdy と Segond」小林晶『整形外科』55 (5) 603-609
- 「接骨・整骨、柔道整復の名称とその歴史的経過、意味 (1) (抄)」高橋正重、日向野眞一『柔道整復・接骨医学』12 (3) 220
- 「接骨・整骨、柔道整復の名称とその歴史的経過、意味 (2) (抄)」日向野眞一、高橋正重『柔道整復・接骨医学』12 (3) 221-224 (1) 3-4

33 精神医学史

- 「島村鼎甫訳『生理啓発』(完)」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(60) 31-37
- 「本間棗軒『内科秘録』(完)」『呉秀三先生記念精神科医療

史資料通信】(60) 1-30

「原点に帰って原典を読む－症例を中心に 外因性精神病の成立 Karl Ludwig Bonhoeffer (1868-1948) による外因反応型 (Die exogenen Reaktionstypen) (1908, 1910, 1912) の記述－その後の症候性精神病 (symptomatische Psychosen) 概念の変遷と発展－」池村義明『精神科治療学』19 (2) 253-261

「原点に返って原典を読む－症例を中心に 外因性精神病の成立 補遺 Karl Ludwig Bonhoeffer (1868-1948) の足跡学者として、人間として」池村義明『精神科治療学』19 (5) 675-683

「わが国の精神医学・医療の歴史と今後の展望 生物学的精神医学の立場から」大月三郎『精神神経学雑誌』106 (9) 1124-1129

「色紙にみる森田哲学」大原健士郎『メンタルヘルス岡本記念財団研究助成報告集』(15) 89

「安藤昌益の精神医学と現代」岡田靖雄『QUEST』(30) 20-27

「本間棗軒『内科秘録』にみる癲狂説 (抄)」岡田靖雄『日本医学雑誌』50 (1) 170-171

「精神医学史の機能 森田療法の中に生きている仏教思想」岡本重慶『精神神経学雑誌』106 (6) 750-754

「斎藤茂吉 『呉秀三先生を偲ぶ』再考 (抄)」小曾戸明子

『医譚』(98) 61-62

「仙台 (市) における精神医学 (精神病院) の濫觴 (発祥) 呉秀三「我邦ニ於ケル精神病ニ関スル最近ノ施設」(1907) を基に」近藤等『仙台市立病院医学雑誌』24, 19-23

「精神医学史探訪Ⅲ 笑うデモクリトス」酒井明夫『精神科』4 (1) 44-48

「精神医学史探訪Ⅳ ヘラクレスの泡」酒井明夫『精神科』4 (3) 205-210

「精神医学史探訪Ⅴ シャルル6世の煉獄」酒井明夫『精神科』4 (5) 332-338

「精神医学史探訪Ⅵ カリグラの逸脱」酒井明夫『精神科』5 (1) 52-58

「精神医学史探訪 酩酊するアレクサンドロス大王」酒井明夫『精神科』5 (3) 231-237

「精神医学史探訪 カンビュセス2世の暴虐」酒井明夫『精神科』5 (5) 393-397

「仙台四郎 (シロ馬鹿) ルネッサンス期の "Fool" の概念をとおして」菅原道哉、高橋克昌、桂川修一『こころと文化』3 (2) 133-143

「精神医学史の機能 作業療法と表現療法から見た20世紀前半の精神医療」鈴木國文『精神神経学雑誌』106 (6) 755-761

「自閉症理解の現在 自閉症論の変遷 この60年を振り

- 返って」十一元三『こころの臨床ア・ラ・カルト』23 (3) 261-265
- 「人格障害の90年 Koch,Schneider,そしてDSM-III」中谷陽二『精神医学』46 (7) 674-684
- 「わが国の精神医学・医療の歴史と今後の展望 力動精神医学の立場から」西園昌久『精神神経学雑誌』106 (9) 1117-1123
- 「私宅監置室の実際—各府県における精神病患者監護法取扱手続の比較 (抄)」橋本明『日本医史学雑誌』50 (1) 160-161
- 「精神医学史の機能 Falret,j-p-その思想と今日に学ぶもの」濱田秀伯『精神神経学雑誌』106 (6) 745-748
- 「20世紀前半の「脳病理学」における「全体論」の歴史的背景と現代の神経心理学、(精神)医学、人文学、諸科学との関連 Kurt Goldstein の考想を中心に」濱中淑彦『精神医学』46 (11) 1225-1233
- 「ヤームスの2つの顔 社会における精神科医の役割」松下正明『精神科臨床サービス』4 (4) 560-565
- 「わが国の精神医学・医療の歴史と今後の展望 臨床精神医学の立場から」山下格『精神神経学雑誌』106 (9) 1130-1134
- 「精神医学史の機能 精神医学における疾病史の臨床的意義 (抄)」山田和夫『精神神経学雑誌』106 (6) 749

「サビーナ・ニコラーエブナ・シュピリレイン (2) その人物と業績 (抄)」百合草禎二『日本心理学会68回大会発表論文集』18

35 西洋医学史

- 「Hippocratic Medicine and Philosophy at the End of the 20th Century (1)-(2)」Spyros Marketos『日本医史学雑誌』50 (1,3) 177-183, 493-498
- 「世界医学史の旅⑤ 古代エジプト医学散歩」石田純郎『ミクロスコピア』21 (2) 142-145
- 「世界医学史の旅⑥ 病院のルーツをドイツに探る バイエルン州のシュピタル群について」石田純郎『ミクロスコピア』21 (3) 234-238
- 「世界医学史の旅⑦ 幕末維新の蘭学のふるさと—オランダ・ウトレヒト散歩」石田純郎『ミクロスコピア』21 (4) 318-321
- 「ヒポクラテスの箴言「人生は短く、術のみちは長い」について」齊藤博『埼玉医科大学医学基礎部門紀要』(10) 61-75
- 「19世紀アメリカ合衆国におけるヘルス・リフォーム—菜食主義の社会的・文化的地平 (抄)」鈴木七美『日本医史学雑誌』50 (1) 48-49
- 「青い血のカルテ ナポリ王フェランテの癌遺伝子」早川智

『産科と婦人科』71 (5) 660-662

「ロイヤル・ブロンプトン・ホスピタルの設立について (抄)」柳澤波香『日本医史学雑誌』50 (1) 34-35

「バーバース カンパニとRCS (抄)」Robson Gordon『医譚』(98) 52-53

37 生理学史

「動物の生理学クロニクル 血圧調節と高血圧 全身麻酔の発見」西田利穂『SA Medicine』6 (1) 60-65

「動物の生理学クロニクル 血圧調節と高血圧 麻酔の安全性と蘇生」西田利穂『SA Medicine』6 (2) 56-61

「動物の生理学クロニクル 血圧調節と高血圧 心臓奇形と外科手術」西田利穂『SA Medicine』6 (3) 92-97

「動物の生理学クロニクル 血圧調節と高血圧 日本初の心臓外科手術」西田利穂『SA Medicine』6 (4) 81-85

「動物の生理学クロニクル 血圧調節と高血圧 心臓外科手術を支える血管外科学」西田利穂『SA Medicine』6 (5) 76-82

「睡眠と呼吸の生理学 睡眠時呼吸障害を理解する レム睡眠の発見」安間文彦『呼吸器ケア』2 (8) 780-783

38 地方史

「日向薬事始め (その1) (抄)」岩井勝正、井本真澄、山本

郁男『日本薬学会 124 年会講演要旨集』(3) 211

「明治期の産婆教育 横浜区・産婆養成所の場合 (抄)」小川景子『母性衛生』45 (3) 208

「『神奈川県統計書』からみた明治期の出産状況 (抄)」小川景子、藤原聡子、望月好子、熊谷智子『母性衛生』45 (3) 226

「松江藩医学史において松平治郷 (不昧) が果たした役割について—藩外の医学、儒学・漢学、国学、兵学の門人帳等を通して—」梶谷光弘『古代文化研究』(12) 75-116

「安中板倉藩の人口問題と対策 (抄)」清水英一『日本医史学雑誌』50 (1) 128-129

「住民による健康増進活動の形成—長野県八千穂村における実践から (抄)」杉山章子『日本医史学雑誌』50 (1) 98-99

「東海道医史の旅 江戸東京編①日本橋の巻」中西淳朗『月刊保団連』(808) 54-55

「東海道医史の旅 江戸東京編②八町堀界限」中西淳朗『月刊保団連』(818) 58-59

「東海道医史の旅 江戸東京編③丸善の巻」中西淳朗『月刊保団連』(821) 54-55

「東海道医史の旅 江戸東京編④銀座の成医会」中西淳朗『月刊保団連』(825) 40-41

「東海道医史の旅 江戸東京編⑤築地から木挽町」中西淳朗

- 『月刊保団連』(828) 62-63
「東海道医史の旅 江戸東京編⑥芸庵から方庵へ」中西淳朗
『月刊保団連』(830) 42-43
「東海道医史の旅 江戸東京編⑦二人の方庵」中西淳朗『月刊保団連』(835) 47-48
「東海道医史の旅 江戸東京編⑧看護人の弔魂之碑」中西淳朗『月刊保団連』(842) 38-39
「東海道医史の旅 江戸東京編⑨芝の寺々の巻」中西淳朗『月刊保団連』(845) 28-29
「西南戦役と神奈川県下の官修墓地(抄)」中西淳朗、松本龍二『神奈川医学会雑誌』31(1) 71
「医史資料 徳川時代の名古屋城・城下町と後世派医療」奈倉道治『現代医学』51(3) 515-520
「長寿社会とビタミン 長寿社会への啓蒙 近代医学発展に貢献した伊勢地方の人々」西井易穂『ビタミン』78(2) 109-110
「小石究理堂と北陸地方一越中高岡の場合一」正橋剛二『北陸医史』25(1) 25-37
「新出資料『櫻園先生叢話』について—高岡佐渡家文書から(抄)」正橋剛二『日本医史学雑誌』50(1) 124-125
「千葉県における東洋医学の歴史」松下嘉一『全日本鍼灸学会雑誌』54(4) 568-580

39 治療史

- 「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史」太田和夫『透析ケア』10(1) 95-98
「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史 人工内臓研究会の発足」太田和夫『透析ケア』10(2) 211-214
「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史」太田和夫『透析ケア』10(3) 317-320
「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史 人工内臓研究会の話題を拾って」太田和夫『透析ケア』10(4) 418-420
「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史 キール型登場の前夜」太田和夫『透析ケア』10(5) 535-537
「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史 キール型ダイアライザーの謎」太田和夫『透析ケア』10(6) 648-650
「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史 米国人工臓器学会(ASAIO)ができるまで」太田和夫『透析ケア』10(7) 753-756
「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史」太田和夫『透析ケア』10(8) 871-874
「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史

- カテーテルでも透析ができる」太田和夫『透析ケア』10 (9) 985-989
- 「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史 不均衡症候群～名付けの親は？」太田和夫『透析ケア』10 (10) 1099-1102
- 「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史 救われるのは誰か」太田和夫『透析ケア』10 (11) 1206-1210
- 「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史 日本腎臓学会の誕生」太田和夫『透析ケア』10 (12) 1324-1326
- 「小児外科医の散歩道 宮廷医学と陰陽師 代替医療」大橋 映介『小児外科』36 (11) 1450-1451
- 「【一般診療における消毒・滅菌】消毒法・滅菌法の歴史」柿田章『日本医師会雑誌』131 (9) 1377-1382
- 「治療の歴史 消化管治療内視鏡」加藤真子『治療学』38 (5) 581-586
- 「抗菌薬の開発と薬剤耐性菌の歴史」紺野昌俊『日本臨床微生物学雑誌』14 (1) 1-23
- 「心不全の薬物治療の変遷 (3)」篠山重威『BIO Clinica』19 (5) 461-466
- 「癌 化学療法の50年」菅野晴夫『癌の臨床』50 (8) 607-616
- 「治療の歴史 わが国における慢性肝炎に対する IFN 療法」鈴木宏 『治療学』38 (9) 1036-1039
- 「最初の受血者ローマ法王インノケンティウスⅧ世 (抄)」隅田幸男『日本輸血学会雑誌』50 (1) 123-124
- 「治療の歴史 悪性リンパ腫の抗体療法」飛内賢正『治療学』38 (1) 113-116
- 「アレルギー免疫療法 研究の歴史 Blocking Antibody の発見に至るまで」長屋宏『喘息』17 (1) 85-87
- 「アレルギー免疫療法 研究の歴史 Regulatory (Suppressor) T細胞」長屋宏『喘息』17 (3) 73-77
- 「【微生物と抗菌薬】抗菌薬と感染症の歴史」那須勝『Medical Digest』53 (1) 16-21
- 「電磁波による生体影響の研究・治療の歴史」奈良圭之輔、岩井信市、横地章生、小口勝司『日本医史学雑誌』50 (2) 275-289
- 「電磁波による生体影響の研究・治療の歴史 (抄)」奈良圭之輔、岩井信市、横地章生、小口勝司『日本医史学雑誌』50 (1) 94-95
- 「薛巳の外科治療概念の考察 (抄)」西巻明彦『日本医史学雑誌』50 (1) 144-145
- 「私のかかわった人工心臓開発と臨床応用の歴史的考察」仁田新一『人工臓器』33 (1) 3-10
- 「治療の歴史 血圧測定」橋本潤一郎、今井潤『治療学』38

(2) 227-231

「【微生物と抗菌薬】地球の歴史と微生物のかかわり」橋本一『Medical Digest』53 (1) 2-7

「インスリンー発見から今日」林子志美『愛知県病院薬剤師会雑誌』32 (1) 2-10

「吸入薬の使い分け 吸入薬の意義と歴史 吸入薬を上手に使えるかどうかで、呼吸器専門医かどうか問われる」福島健泰『医薬ジャーナル』40 (11) 2943-2950

「人類の智慧 疼痛克服の歴史 痛みの電気治療の歴史 電気魚とライデン瓶」横田敏勝『Arthritis—運動器疾患と炎症』2 (1) 64-66

「人類の智慧 疼痛克服の歴史 痛みの電気治療の歴史 電池の発明以後」横田敏勝『Arthritis—運動器疾患と炎症』2 (2) 136-140

「人類の智慧 疼痛克服の歴史 痛みの外科的治療の歴史 前外側索切断術」横田敏勝『Arthritis—運動器疾患と炎症』2 (3) 216-218

40 伝記

「訃報 赤堀昭先生」酒井シヅ、他『漢方研究』(393) 32-36

「済生学舎出身の細菌学者・浅川範彦について—野口英世の伝染病研究所時代の師(抄)」唐沢信安、殿崎正明『日本

医史学雑誌』50 (1) 102-103

「江戸時代の天文科学者—麻田剛立」鹿毛敏夫『大塚葉報』(600) 6-16

「ルイス・デ・アルメイダとアルメイダ病院」宇都宮文夫『アルメイダ医報』28 (2) 93-96

「ルイス・デ・アルメイダとアルメイダ病院(そのⅢ)」宇都宮文夫『アルメイダ医報』29 (1) 5-8

「歴史に残る斯界の人々 其の21 石川太刀雄」『医道の日本』63 (9) 口絵

「先達医家の肖像〈114〉稲田竜吉(1874-1950)」酒井シヅ『MEDICAL DIGEST』(390) 表3

「スペイン宮廷のヴェサリウス」泉彪之助『日本医史学雑誌』50 (4) 591-616

「スペイン宮廷のヴェサリウス(抄)A」泉彪之助『日本医史学雑誌』50 (1) 40-41

「英国老年医学の母 ウォレン Marjory Warren」小澤利男『老人医学』42 (10) 1373-1375

「医官、内田守と文芸活動」馬場純二『歴史評論』(656) 20-32

「古典あれこれ エールリッヒと2人の日本人弟子」小川浩司『JOHNS』20 (10) 1600-1607

「大関和(ちか)年譜」上坂良子『医学史研究』(84) 256-262

- 「外科病理の開拓者：太田邦夫先生」高山昭三『MODERN MEDIA』50 (2) 42-45
- 「太田正雄（木下空太郎）のハンセン病研究について」松岡弘之『歴史評論』(656) 68-85
- 「原老柳門人大野惟中に関する一資料の紹介」古西義麿『医譚』(98) 37-45
- 「億川家の解体調査を通じて知った億川撰三先生」古西義麿『医譚』(98) 28-36
- 「名塩の先達億川囁三先生を偲ぶ（抄）」中山沃『医譚』(98) 67
- 「億川囁三先生について（抄）」長門谷洋治『医譚』(98) 69-71
- 「マイケル吉田のアメリカ通信 William Osler 医師から学ぶこと」吉田清和『Journal of Clinical Rehabilitation』13 (2) 156-158
- 「青い血のカルテ オルレアン公妃の胃潰瘍」早川智『産科と婦人科』71 (9) 1234-1237
- 「青い血のカルテ スエーデン王カール 12 世の頭痛銃創」早川智『産科と婦人科』71 (11) 1784-1787
- 「『養生訓』の現代的意義の考察 貝原益軒の「食養生」」田中和子『秋田桂城短期大学紀要』(17) 103-113
- 「『養生訓』の現代的意義の考察 貝原益軒のウェルネスの思想」田中和子『秋田桂城短期大学紀要』(16) 113-121

- 「貝原益軒とその養生訓」岩崎輝明『総合医学』27 (4) 1
- 「貝原益軒の「養生訓」 貝原益軒の考える理想の医師像（抄）」藤田正一『柔道整復・接骨医学』12 (3) 261
- 「桂田富士郎 日本住血吸虫発見百年（抄）」小田皓二『医譚』(98) 62-63
- 「日本住血吸虫発見 100 年記念 桂田富士郎先生の顕彰」小田皓二『岡山医学同窓会報』(96) 1-10
- 「桂田富士郎（上・下）日本住血吸虫発見 100 年」小田皓二『日本医事新報』(4176-4177) 39-41, 45-47
- 「適塾門下生「備中都宇郡早島 金光廉平」について（第一報）（抄）」木村丹『医譚』(98) 61
- 「【カポジ先生と皮膚病 その 100 年の軌跡】 Kaposi のハンドアトラスについて」小野友道『Visual Dermatology』3 (2) 144
- 「【カポジ先生と皮膚病 その 100 年の軌跡】 Kaposvar 病院と Mor Kaposi の歴史」Nagy Gyula『Visual Dermatology』3 (2) 136-141
- 「【カポジ先生と皮膚病 その 100 年の軌跡】 M.Kaposi のハンドアトラス 祖父との再会」尾上薫『Visual Dermatology』3 (2) 143
- 「【カポジ先生と皮膚病 その 100 年の軌跡】 Moritz Kaposi (1837-1902) について」板倉英世『Visual Dermatology』3 (2) 134-135

- 「【カポジ先生と皮膚病 その100年の軌跡】土肥慶蔵教授のKaposi教授への追悼文」小野友道『Visual Dermatology』3 (2) 130-132
- 「賀茂真淵の死因」杉浦守邦『医譚』(98) 15-27
- 「河田鑄也の著作について」松本康博『日本歯科医史学会々誌』25 (3) 143-146
- 「鑑真和上と視力障碍」稲垣直『ぐんしょ』17 (3) 24-29
- 「近代上海における岸田吟香の医薬事業について (1860～1890) (抄)」丁蕾『日本医史学雑誌』50 (1) 122-123
- 「孤高の外科医ギョーム・デュピュイトラン男爵 (1777-1835) (抄)」小林晶『日本手の外科学会雑誌』21 (1) S107
- 「歴史に残る斯界の人々 其の19 久木田伊助」『医道の日本』63 (7) 口絵
- 「軍医小池正直の一書簡」高橋陽一『日本医事新報』(4181) 39-41
- 「20世紀前半の「脳病理学」における「全体論」の歴史的背景と現代の神経心理学、(精神)医学、人文学、諸科学との関連 Kurt Goldstein の考想を中心に」濱中淑彦『精神医学』46 (11) 1225-1233
- 「歴史に残る斯界の人々 其の20 後藤真一」『医道の日本』63 (8) 口絵
- 「歴史に残る斯界の人々 其の22 小林勝馬」『医道の日本』

- 63 (10) 口絵
- 「M・Lゴルドン創始 京都現存最古の私立幼稚園 (抄)」半井英江『医譚』(98) 55
- 「先達医家の肖像 <113> Nikolai Sergeevich Korotkov (Korotkoff) (1874-1920)」酒井シヅ『MEDICAL DIGEST』(389) 表3
- 「齋藤眞教授と脊椎麻酔」松木明知『麻酔』53 (増刊) 70-80
- 「佐伯理一郎とペンシルバニア大学留学—大学便覧 (1887～88) から得た若干の知見 (抄)」渡辺昭彦『日本医史学雑誌』50 (1) 30-31
- 「日本大学歯学部創設者佐藤運雄先生の略歴並びに著書に関する知見補遺 (抄)」工藤逸郎、三宅正彦、見崎徹、金山利吉、西山實、小室歳信、太田肇、佐藤孜『日本歯科医史学会々誌』25 (4) 212
- 「藝文風土記 ドクトル佐藤進の足跡 常陸太田市、行方郡麻生町ほか」『常陽藝文』(250) 1-11
- 「医者も知りたい医者のはなし シーボルト事件 シーボルトについて」木村専太郎『臨床整形外科』39 (6) 810-814
- 「医者も知りたい医者のはなし シーボルト事件 シーボルト事件と帰国後のシーボルトについて」木村専太郎『臨床整形外科』39 (8) 1082-1086

「郷土のはこり・・福岡の先賢医師 83-86 シーボルトの役目 第1回～第4回」木村専太郎『福岡県医報』(1331-1334) 22-23, 16-17, 16-18, 24-27

「古典あれこれ シーボルトと医学的背景—第1部：18-19世紀にかけての医学—」犬山征夫『JOHNS』20 (2) 262-268

「古典あれこれ シーボルトと医学的背景—第2部：日本での活躍と事件—」犬山征夫『JOHNS』20 (3) 514-521

「ある医学史家の歩み シッパーゲス教授をしのんで」真壁伍郎『総合看護』39 (1) 15-21

「D・B・シモンズ知見補遺(抄)」荒井保男『日本医史学雑誌』50 (1) 6-9

「先達医家の肖像〈117〉 Richard Shope (1901-1966)」酒井シヅ『MEDICAL DIGEST』(393) 表3

「ビタミン発見と鈴木梅太郎博士」岩城耕一郎『日本臨床栄養学会雑誌』25 (4) 313-314

「関場不二彦の著述 第1報 氏の性格について」秦温信、松岡伸一、関谷千尋、佐野文男、島田保久、鮫島夏樹『北辰』(6) 28-34

「関場不二彦の未発表原稿「西医学東漸史話補遺」について」秦温信、島田保久、長瀬清『日本医史学雑誌』50 (3) 449-451

「鍼灸界に関する代田文誌先生の功績」多留敦文『臨床針灸』

19 (1) 78-95

「医のことは 病気を診ずして病人を診よ 高木兼寛 (1849-1920)」荒井保男『新薬と治療』54 (3) 35-37

「メタアナリシスによる高木兼寛の実験航海の再検証」城戸秀倫、佐々木洋平、東純央、浦島充佳、景山茂『東京慈恵会医科大学雑誌』119 (4) 279-285

「高木兼寛とビタミン」松田誠『東京慈恵会医科大学雑誌』119 (2) 177-188

「明治を駆けた麦飯男爵・高木兼寛(抄)」山崎洋次『日本腹部救急医学会雑誌』24 (2) 264

「高松凌雲(1836～1916)とフランス(抄)」小林晶『日本医史学雑誌』50 (1) 110-111

「高血圧研究の偉人 高峰讓吉」菅野富夫『血圧』11 (12) 1369-1372

「高山坦三先生と医史学」島田保久『北辰』(6) 35-38

「歴史に残る斯界の人々 其の13 竹山晋一郎」『医道の日本』63 (1) 口絵

「日本肢体不自由教育に遺した田代義徳の功績(抄)」杉浦守邦『医譚』(98) 56-57

「血脇守之助の親友 田原利(抄)」山岸東太郎、森山徳長、長谷川正康、石川達也『日本歯科医史学会々誌』25 (4) 211

「HISTORY 田原結節」須磨幸蔵『BIO Clinica』19 (9)

753-758

- 「世界の心臓学を拓いた田原淳博士 「田原の手紙」への想い (抄)」島田宗洋『不整脈』20 (1) 82
- 「世界の心臓学を拓いた田原淳博士 祖父田原淳を語る (抄)」村山暁『不整脈』20 (1) 82
- 「世界の心臓学を拓いた田原淳博士 田原淳の生家 (抄)」中嶋剛一郎『不整脈』20 (1) 82
- 「世界の心臓学を拓いた田原淳博士 田原淳のふるさとと安岐町 (抄)」島田達生『不整脈』20 (1) 81
- 「世界の心臓学を拓いた田原淳博士 ドイツ留学と刺激伝導系の発見への道程 (抄)」須磨幸蔵『不整脈』20 (1) 82
- 「田原淳先生からのメッセージ (抄)」藤田恒夫『不整脈』20 (1) 85
- 「腎臓の探究史 糸球体構成細胞を明らかにしたツイメルマン」坂井建雄『腎臓』27 (1) 35-41
- 「名医探訪 傳青主とその医学」載昭宇『中医臨床』25 (1) 38-41
- 「ナイチンゲールに倣う実践知」小澤道子『聖路加看護学会誌』8 (1) 52-53
- 「歴史に残る斯界の人々 其の十七 中谷義雄」『医道の日本』63 (5) 口絵
- 「中野康章と大同薬室文庫 現在の利用状況と今後のデジタルアーカイブ化について (抄)」野尻佳与子、青木允夫

- 『日本医史学雑誌』50 (1) 132-133
- 「長与専斎と「衛生意見」の意義 (抄)」笠原英彦『日本医史学雑誌』50 (1) 112-113
- 「近代医学への道を歩んだ西井格太郎の履歴 (抄)」西井易穂『日本医史学雑誌』50 (1) 150-151
- 「随想老人医学 米国老人医学の父 Nascher とその後の発展」小澤利男『老人医学』42 (11) 1509-1511
- 「野口英世 研究の軌跡」高添一郎『文』(74) 1-5
- 「野口英世 七言絶句と油絵」小柴健『文』(74) 9-10
- 「野口英世 若き日の肉声」井出孫六『文』(74) 6-8
- 「野口英世の遺産」山口真也『文』(74) 11
- 「野口英世の肖像を用いた新紙幣の研究 (抄)」森山徳長『日本歯科医史学会々誌』25 (4) 208
- 「高血圧研究の偉人 Frederic Crosby Bartter」川崎晃一『血圧』11 (7) 735-740
- 「医学史随想 華岡青洲をめぐる史話余録」泉雄勝『乳癌の臨床』19 (1) 53-56
- 「華岡青洲と「乳巖治験録」(抄)」松木明知『日本歯科麻酔学会雑誌』32 (4) 476
- 「華岡青洲に関する研究・最近の知見 麻沸散による全身麻酔下乳癌手術施行 200周年を記念して」松木明知『日本医事新報』(4174) 41-44
- 「先達医家の肖像 <116> Sir Godfrey Hounsfield (1919-2004)」

- 酒井シヅ『MEDICAL DIGEST』(392)表3
- 「樋口一葉の病歴」白崎昭一郎『北陸医史』25(1)1-9
- 「歴史に残る斯界の人々 其の23 平川荘作」『医道の日本』63(11)口絵
- 「翹楚・平野革谿を訪ねて」大友一夫『東静漢方研究室』27(1)37-46
- 「江戸時代後期の町医者平野重誠の背景—著書と墓地を中心に—(抄)」中村節子『神奈川医学会雑誌』31(2)167
- 「江戸時代の看護書『病家須知』の著者平野重誠の背景—家系を中心に(抄)」中村節子、平尾真智子『日本医史学雑誌』50(1)22-23
- 「近代腹部外科の開祖 Billroth ビルロート余滴 ドイツ外科学の源流」佐藤裕『臨床外科』59(1)56-58
- 「近代腹部外科の開祖 Billroth ビルロート余滴 Billroth 一門と甲状腺外科」佐藤裕『臨床外科』59(2)178-180
- 「近代腹部外科の開祖 Billroth ビルロート余滴 1873年12月31日、「喉頭癌」を切除す！」佐藤裕『臨床外科』59(4)466-468
- 「近代腹部外科の開祖 Billroth ビルロート余滴 Billroth と災害救助医療と看護婦育成」佐藤裕『臨床外科』59(6)726-728
- 「近代腹部外科の開祖 Billroth ビルロート余滴 ビルロートゆかりの地の紹介」佐藤裕『臨床外科』59(7)899-901
- 「近代腹部外科の開祖 Billroth ビルロート余滴 Billroth に師事した日本人医師」佐藤裕『臨床外科』59(8)1028-1031
- 「近代腹部外科の開祖 Billroth ビルロート余滴 佐藤進の「外科通論」」佐藤裕『臨床外科』59(9)1172-1175
- 「近代腹部外科の開祖: Billroth ビルロート余滴 ミクリッチによるビルロートの蓋棺録」佐藤裕『臨床外科』59(10)1314-1318
- 「近代腹部外科の開祖 Billroth ビルロート余滴 ビルロート「医師(医士)のあり方」を論ず」佐藤裕『臨床外科』59(12)1453-1455
- 「高血圧研究の偉人 Bjorn Folkow」神谷瞭『血圧』11(2)201-203
- 「歴史に残る斯界の人々 其の15 深谷伊三郎」『医道の日本』63(3)口絵
- 「高血圧研究の偉人 Edward D Freis」荒川規矩夫『血圧』11(6)635-639
- 「ホワイト・ヘブン・サナトリウムとローレンス・F・フリック医師(抄)」青木國雄『日本医史学雑誌』50(1)18-19
- 「先達医家の肖像<112> Alexander Fleming (1881-1955)」酒井シヅ『MEDICAL DIGEST』(388)表3

- 「知られざる科学者 ペテンコーフェル 第1話、第2話」
植木絢子『ミクロスコピア』21 (3-4) 206-211,274-279
- 「青い血のカルテ ローマ皇帝ヘリオガバルスの性同一性障害」早川智『産科と婦人科』71 (8) 1076-1080
- 「ヘロデ王の糖尿病」早川智『産科と婦人科』71 (12) 1902-1905
- 「A.F.ボードインの大坂病院における診療記録と眼科記録ノート (抄)」中山沃『日本医史学雑誌』50 (1) 118-119
- 「古典あれこれ 日本の医学教育に貢献したポンペーその1-2」犬山征夫『JOHNS』20 (8-9) 1158-1162, 1470-1475
- 「昭和の古典医学的鍼灸集団 「経絡治療」派の群像 本間祥白」藤原知『医道の日本』63 (9) 197-199
- 「人と時代 ジャワ号の航跡 ローベルト・マイヤー、エネルギー保存則の提唱【後編】」舩引龍平『ミクロスコピア』21 (1) 36-41
- 「歴史に残る斯界の人々 其の14 増永静人」『医道の日本』63 (2) 口絵
- 「京都大学整形外科学教室初代教授松岡道治先生の業績 (抄)」廣谷速人『日本医史学雑誌』50 (1) 148-149
- 「松尾芭蕉と眼屈折異常 (上)」秋谷忍『日本医事新報』(4193) 41-44
- 「高血圧研究の偉人 James William McCubbin」柘山幸志郎『血圧』11 (9) 1005-1007

- 「歴史に残る斯界の人々 其の16 間中喜雄」『医道の日本』63 (4) 口絵
- 「曲直瀬玄朔の著作の諸問題—『山居四要抜粹』『済民記』は玄朔の著作か」遠藤次郎、中村輝子『日本医史学雑誌』50 (4) 547-568
- 「歴史に残る斯界の人々 其の18 丸山昌朗」『医道の日本』63 (6) 口絵
- 「東京養育院医員時代の光田健輔について (抄)」平井雄一郎『日本医史学雑誌』50 (1) 104-105
- 「こだまするいのち おさなごに生きた三宅廉博士の生涯を通して (抄)」松村武男『喘息』17 (3) 73-77
- 「向井玄升と西洋医学について (抄)」ヴォルフガング・ミヒェル『医譚』(98) 63-64
- 「オットーモーニッケの博物学研究 (抄)」相川忠臣『日本医史学雑誌』50 (1) 114-115
- 「医のことば 森鷗外 (林太郎) (1862-1922)」荒井保男『新薬と治療』54 (5) 31-35
- 「神農本草経のABC 森立之と神農本草経」小根山隆祥『漢方療法』8 (3) 208-213
- 「山極勝三郎先生と日本の発がん研究」杉村隆『信州医学雑誌』52 (2) 114-121
- 「中津藩医山辺文伯と産育編について (2) (抄)」石原力『日本医史学雑誌』50 (1) 32-33

- 「与謝蕪村の死因」杉浦守邦『啓迪』(22) 9-17
 「医者も知りたい医者のはなし 蘭医学事始・吉雄耕牛について」木村専太郎『臨床整形外科』39 (2) 184-187
 「正骨家吉原杏蔭齋に関する新資料とその門下生 (抄)」蒲原宏、川島真人『日本医史学雑誌』50 (1) 162-163
 「再考・吉益東洞 吉益東洞の医説と臨床」安井廣迪『日本東洋医学雑誌』55 (1) 88-102
 「歴史に残る斯界の人々 其の二十四 米山博久」『医道の日本』63 (12) 口絵
 「書簡からみる日本におけるリンダ・リチャーズの活動 (その1-2)」小野尚香、坂本清音『医譚』(98) 96-120, 77-95
 「李東垣の養生思想 (抄)」東郷俊宏『日本東方医学会抄録集』19
 「リンダ・リチャーズ来日直後の足跡 (一八八六年、横浜から京都へ) (抄)」岡山寧子、依田和美『日本医史学雑誌』50 (1) 24-25
 「先達医家の肖像 <115> Sir Thomas Lewis (1881-1945)」酒井シヅ『MEDICAL DIGEST』(391) 表3
 「魯迅と仙台」山本敏行『日中医学』19 (1) 27

41 伝記 (双伝)

- 「ルイス・デ・アルメイダとボンベ・ファン・メールデルフォールト」相川忠臣『日本医事新報』(4198) 39-43

「青い血のカルテ フランス王アンリ2世の頭部外傷 パレとヴェサリウスの併診」早川智『産科と婦人科』71 (7) 932-937

「石黒忠恵と野口英世—石黒不円文庫調査第1報 (抄)」町泉寿郎、小曾戸洋『日本医史学雑誌』50 (1) 108-109

「福田思想にみる行基と忍性の福祉的実践の比較 奈良時代と鎌倉時代を比較して」高田みつ子『杏林大学研究報告—教養部門』21 () 1-11

「クジラ・ゾウ・ゴリラとの出会い 13人の恩師を偲んで—」神谷敏郎『ミクロスコピア』21 (2) 108-112

「人と時代 田原淳と宇良田唯たち—カッセルでの寧日—」須磨幸蔵『ミクロスコピア』21 (1) 42-44

「医薬品情報 SELIMIC から 医薬分業の歴史考証：封建領主 (名君) 2人の関わり方 テロ (毒殺) 防止を図ったフリードリッヒ2世と毒殺で將軍になった吉宗？」柴田徹一『あいみっく』25 (2) 13-25

「松本順と北海道 (II) —本道で活躍した門下・門弟の足跡—」宮下舜一『北辰』(6) 2-15

42 伝染病・防疫史

「生活史を語ることの困難—あるハンセン病者の語りから—」蘭由岐子『歴史評論』(656) 33-43

「生物・化学兵器の恐怖 生物・化学兵器の歴史 7-8 わが

- 国が行った生物・化学兵器の研究と実践」石倉俊治『薬局』55 (13) 117-120,1586-1589
- 「近代横浜における天然痘・種痘統計の分析 (抄)」市川智生『日本医史学雑誌』50 (1) 62-63
- 「日本における検疫の歴史と軍隊」加辺純雄『防衛衛生』51 (5-6) 99-105
- 「19世紀後半の神奈川県における天然痘と種痘の状況 (抄)」川部裕幸『日本医史学雑誌』50 (1) 58-59
- 「コレラに対する禁忌食品の時代的変遷 (抄)」佐分利保雄『神奈川医学会雑誌』31 (1) 72
- 「小児感染症の変遷」城宏輔『小児保健研究』63 (増刊) 136-138
- 「GHQ 文書による占領期のハンセン病関係史料の研究 (抄)」杉田聡、丸井英二『日本医史学雑誌』50 (1) 60-61
- 「江戸時代の梅毒をめぐる意識について (抄)」鈴木則子『日本医史学雑誌』50 (1) 64-65
- 「江戸時代の麻疹と医療一文久2年麻疹騒動の背景を考える」鈴木則子『日本医史学雑誌』50 (4) 501-546
- 「ペスト残影」に書残したこと (抄) 滝上正『神奈川医学会雑誌』31 (1) 72-73
- 「ペスト検疫はなぜ40日だったか」滝上正『日本医事新報』(4198) 43-45
- 「わが国の癩 (らい) 対策における隔離の時代的変遷」成田

- 稔『歴史評論』(656) 2-19
- 「私立癩療養所『慰廢園』考」平井雄一郎『歴史評論』(656) 44-56
- 「レジオネラ感染症 水系感染源に注意 レジオネラ症の歴史的背景」増田道明『Mebio』21 (12) 57-62
- 「感染症と私 人生の一軌跡 師と心友と (2)」松本慶蔵『臨床と微生物』31 (1) 90-93
- 「草津湯の沢ハンセン病自由療養地の研究 (IV) 栗生楽泉園と湯の沢の人々」森修一、加藤三郎、横山秀夫、田中梅吉、兼田繁『日本ハンセン病学会雑誌』73 (1) 47-63

43 東洋医学史・伝統医学史

- 「漢方医術の神髄を問う (上)」青木すみゑ『経絡鍼療』36 (7) 39-45
- 「『長沙走馬樓三國吳簡・竹簡』にみる病名について (抄)」猪飼祥夫『医譚』(98) 53-55
- 「『杉山真伝流』家元・和田家 (幕府鍼科医官) の名称について (抄)」大浦慈観『日本東洋医学雑誌』55 (別冊) 167
- 「目でみる漢方史料館 (191) 杉山和一検校・没後三百年」大浦宏勝『漢方の臨床』51 (7) 866-868
- 「目でみる漢方史料館 (192) 杉山流の奥義書『杉山真伝流』」大浦宏勝『漢方の臨床』51 (8) 1018-1020

- 「杉山検校遺徳顕彰会蔵の『杉山真伝流』」大浦宏勝、小曾戸洋『日本医史学雑誌』50 (2) 223-242
- 「『杉山真伝流』の継承者たち—江戸中期鍼灸術の精粹・杉山真伝流を完成・継承した人々(抄)」大浦宏勝・花輪壽彦、石野尚吾『日本医史学雑誌』50 (1) 70-71
- 「大塚敬節による『類聚方広義』解釈(39-42)」大塚賢治、渡辺洋井『漢方の臨床』51 (5-6, 8-9) 653-660, 795-805, 1089-1096, 1209-1221
- 「日中医学交流史 12. 中日における挿絵のある医学書を語る(中国編)」郭秀梅『日中医学』18 (6) 24-27
- 「日中医学交流史 13. 中日における挿絵のある医学書を語る(日本編)」郭秀梅『日中医学』19 (1) 28-31
- 「日中医学交流史 14. 近代の史学者達の中日医学交流への貢献」郭秀梅『日中医学』19 (2) 18-20
- 「私はこう思う 伝統鍼灸とは何か 真の伝統鍼灸の誕生に期待する」形井秀一『医道の日本』63 (9) 133-135
- 「漢方製剤の医史学補遺(抄)」菊谷豊彦『神奈川医学会雑誌』31 (1) 71-72
- 「漢方製剤の医史学的検討(抄)」菊谷豊彦『日本医史学雑誌』50 (1) 10-12
- 「【威力を発揮する中医外科療法】系譜 明清代の中医外科の流派について」黄煌『中医臨床』25 (1) 24-28
- 「古医書のはなし①現存する伝統医学古書の数」小曾戸洋

- 『漢方と鍼』28 (2) 6
- 「古医書のはなし②最古の医書目録—『漢書』芸文志・方技」小曾戸洋『漢方と鍼』28 (3) 5
- 「考証医学の人々とその業績」小曾戸洋『杏雨』(7) 93-108
- 「馬王堆『五十二病方』の灸療法(抄)」小曾戸洋『日本東洋医学雑誌』55 (別冊) 168
- 「目でみる漢方史料館(184) 矢数道明先生賛神農画像(その2)」小曾戸洋『漢方の臨床』51 (1) 2-4
- 「目でみる漢方史料館(189) 多紀元堅編の『名医彙論』」小曾戸洋『漢方の臨床』51 (5) 574-576
- 「目でみる漢方史料館(190) 陶弘景の筆跡と肖像」小曾戸洋『漢方の臨床』51 (6) 714-716
- 「目でみる漢方史料館(195) 南宋版『諸病源候論』—最古の善本」小曾戸洋『漢方の臨床』51 (11) 1474-1476
- 「目でみる漢方史料館(193) 岡田昌春と『水志』」小曾戸洋、町泉寿郎『漢方の臨床』51 (9) 1170-1172
- 「目でみる漢方史料館(194) 『八大家医伝』の稿本・刊本・版木」小曾戸洋、町泉寿郎『漢方の臨床』51 (10) 1330-1332
- 「目でみる漢方史料館(196) 矢数道明先生顕彰碑竣工」小曾戸洋、真柳誠『漢方の臨床』51 (12) 1626-1628
- 「『外臺秘要方』巻39に引用される『明堂』条文について(抄)」木場由衣登『日本医史学雑誌』50 (1) 78-79

- 「日中医学交流史 11. 中国隋—唐時期と日本飛鳥—奈良—平安時期の医学教育」邵沛、魯紅梅『日中医学』18 (5) 26-29
- 「大滝秀穂『中国仏教石窟を訪ねて』白崎昭一郎『福井県医師会だより』(512) 34-35
- 「『金匱要略』禽獸虫魚禁忌并治第24 平成新釈 (1-3)」杉山広重『漢方の臨床』51 (6, 9-10) 806-815, 1284-1289, 1426-1432
- 「『金匱要略』食忌篇 (第24・第25) の積義へのアプローチ」杉山広重『漢方の臨床』51 (4) 527-540
- 「意釈『審視瑤函』(傳仁宇著) (1-7)」孫基然、黒木悟、安井廣迪『漢方の臨床』51 (1, 7-12) 146-150, 948-952, 1097-1101, 1271-1274, 1421-1425, 1538-1542, 1729-1732
- 「現代鍼灸と杉山検校の業績について」高橋昇造『経絡鍼療』36 (8) 34-50
- 「錦小路家学館開講史料」田崎哲郎『啓迪』(22) 18-20
- 「医在厨房 医学のはじまり」辰巳洋『伝統医学』7 (1) 32
- 「易学の成立と展開——その思想と理論」館野正美『東アジア文化総合研究』(3) 96-107
- 「Medicine Based on the Tao: A Philosophy of Medicine for the World of Globalization」館野正美『East Asia Culture Seminar: :Globalization and East Asian Culture』177-188
- 「Lao-tzu's Tao and an Ancient Chinese Philosophy of Medicine: A Philosophical Background of Traditional Chinese Medicine」館野正美『日本大学人文科学研究所研究紀要』(68) 31-45
- 「山田業広著『金匱要略集注』訓読 (27-28)」千葉古方漢方研究会『漢方の臨床』51 (2, 8) 262-267, 1102-1108
- 「日中医学交流史 16. 『重訂解体新書』の完成と『医学原始』の引用」陶恵寧『日中医学』19 (4) 28-31
- 「豊浦元貞『豊浦遺珠』と刺絡(抄)」友部和弘、長野仁、小曾戸洋、花輪壽彦、石野尚吾『日本東洋医学雑誌』55 (別冊) 166
- 「隋唐期脈状記載との比較による24脈状の検討(抄)」中川俊之『日本医史学雑誌』50 (1) 74-75
- 「気概念(歴史上出典に拠る考察)」永田弘『福岡医師漢方研究会会報』25 (7) 45-49
- 「日本鍼灸小史 祖脈の形成史 脈状の分類が生み出す身体観と疾病観」長野仁『鍼灸 OSAKA』20 (2) 217-229
- 「はりをたてやいとをすえるいやしとくらし ひらがな日本鍼灸史(抄)」長野仁『全日本鍼灸学会雑誌』54 (3) 328-329
- 「目でみる漢方史料館(188)『鍼科便蒙』にみえる鍼立の施術風景」長野仁『漢方の臨床』51 (4) 438-440
- 「五行学説に関連して」中村璋八『斯文』(112) 94-107

- 「中国における医療と本草の歴史Ⅰ-4」難波恒雄『漢方医薬新聞』(343-346) 6.6.6.10
- 「中国における医療と本草の歴史Ⅱ」難波恒雄『漢方医薬新聞』(348-350) 10.6.9
- 「中国における医療と本草の歴史Ⅲ薬物療法の「君臣佐使」の考え方はAd500-600年すでに整っていた」難波恒雄『漢方医薬新聞』(352) 9
- 「中国における医療と本草の歴史Ⅲ薬物に関するあらゆる問題点を12条に網羅」難波恒雄『漢方医薬新聞』(353) 6
- 「中国における医療と本草の歴史Ⅲ上中下葉の思想」難波恒雄『漢方医薬新聞』(355) 9
- 「中国における医療と本草の歴史Ⅲ4『諸病原候論』を撰修、魏晉以後の医療経験を集成 隋唐代の本草①」難波恒雄『漢方医薬新聞』(356) 6
- 「中国における医療と本草の歴史Ⅲ中国の薬局方第1版『新修本草』、ヨーロッパの外来新薬収載 隋唐時代の本草②」難波恒雄『漢方医薬新聞』(357) 10
- 「中国における医療と本草の歴史Ⅲ鑑真来日で医薬伝播、正倉院薬物今も残存 隋唐代の本草③」難波恒雄『漢方医薬新聞』(358) 6
- 「証を考える 証の変遷について(上)」花輪壽彦『漢方研究』(394) 387-392
- 「炎帝・神農伝説 中国伝統医学(漢方)の起源と日本での

流れ」濱田稔夫『漢方研究』(392) 2-3

- 「『靈枢』に見える「針」字と「鍼」字(抄)」堀江奨『日本医学史学雑誌』50(1) 84-85
- 「伊藤鹿里家伝の漢方医書 吉益南涯・中川修亭(抄)」町泉寿郎、小曾戸洋、石川尚吾、花輪壽彦『日本東洋医学雑誌』55(別冊) 166
- 「『昭和鍼灸の総括』が切り開いた地平 ポスト・カリスマの時代の鍼灸理論」松田博公『経絡治療』(157) 18-20
- 「台湾訪書志Ⅰ 故宮博物院所蔵の医薬古典籍(15-21)」真柳誠『漢方の臨床』51(2-5, 7-9) 279-285, 412-418, 541-546, 670-673, 973-977, 1139-1145, 1305-1309
- 「中国における村医の養成と医学教育—はだしの医者への再訓練(抄)」三橋かほり『日本医学史学雑誌』50(1) 100-101
- 「湯島聖堂倉公伝講義[12] 最終回」宮川浩也『医道の日本』63(2) 185-190
- 「私はこう思う 伝統鍼灸とは何か 100年前の技術を踏襲している伝統鍼灸は存在するか」宮川浩也『医道の日本』63(9) 135-136
- 「目でみる漢方史料館(186) 4世神戸源蔵製「九鍼」」宮川浩也、天野陽介『漢方の臨床』51(2) 178-180
- 「目でみる漢方史料館(187) 大英図書館所蔵の敦煌医薬文書(2)」宮川浩也、真柳誠『漢方の臨床』51(3) 302-304

- 「『先府君養庵先生行状』記 その1-その4(終)」宮崎綾子『漢方の臨床』51 (14.7, 12) 151-156, 522-526, 962-967, 1744-1747
- 「韓国の東洋医学について」宮崎瑞明『千葉県医師会雑誌』56 (6) 345-348
- 「学生のための傷障論講義 横浜市立大学東洋医学研究会傷寒論講義 (18)」森由雄『漢方療法』7 (10) 56-64
- 「日本漢方の復興 現代の系譜」山田光胤『漢方の臨床』51 (3) 326-332
- 「筍庵ひとりごと 漢方は日本独自の伝統医学(中医学と違う漢方)」山田光胤『漢方療法』8 (1) 4-5
- 「資料でたどる日本鍼灸史 [31-34] 一岡本一抱の鍼灸②-⑤一」山本徳子『医道の日本』63 (2-5) 182-184, 178-179, 182-183, 155-156
- 「資料でたどる日本鍼灸史 [35-38] 一本郷正豊の鍼灸①-④一」山本徳子『医道の日本』63 (6-7, 9, 12) 168-169, 165-167, 178-181, 187-190
- 「道教と中国医学 (第24回)『太上感應篇』(抄)」吉元昭治『日本医学雑誌』50 (1) 142-143
- 「日中医学交流史 15. 漢方診療にみる日中患者の違い」魯紅梅『日中医学』19 (3) 34-37

44 内科史

- 「輸血の今昔」神谷忠『名古屋医史談話会会報』(35) 1-5
- 「この五十年の日本の内科学」酒井シヅ『日本内科学会関東地方会第500回記念誌』3-7
- 「血球形態学の歴史 顕微鏡の発明・改良と血球の発見」柴田昭『日本検査血液学会雑誌』5 (1) 3-9
- 「血球形態学の歴史 血球形態学の確立」柴田昭『日本検査血液学会雑誌』5 (2) 143-150
- 「血球形態学の歴史 血球形態学の時代」柴田昭『日本検査血液学会雑誌』5 (3) 283-288
- 「日本の血液学 本邦血液学の発展期 基礎血液学者の群像 (4)」柴田昭『血液フロンティア』14 (2) 272-278
- 「日本の血液学 本邦血液学の発展期 臨床血液学の台頭 (1)」柴田昭『血液フロンティア』14 (3) 448-454
- 「日本の血液学 本邦血液学の発展期 臨床血液学の台頭 (2)」柴田昭『血液フロンティア』14 (4) 626-631
- 「日本の血液学 血栓止血領域 血小板研究の歴史」柴田昭『血液フロンティア』14 (6) 930-936
- 「日本の血液学 血栓止血領域 血液凝固の研究小史」柴田昭『血液フロンティア』14 (7) 1084-1090
- 「日本の血液学 血栓止血領域 線維素溶解現象及び播種性血管内凝固 (DIC)」柴田昭『血液フロンティア』14 (8) 1262-1267

- 「日本の血液学 輸血医療のあゆみ (その1)」柴田昭『血液フロンティア』14 (9) 1426-1431
- 「血栓止血学のマイルストーン 血友病AとB」藤巻道男『日本血栓止血学会誌』15 (4) 370-371
- 「赤血球膜に秘められた歴史の小箱 赤血球膜における細胞骨格の超微構造」八幡義人『血液フロンティア』14 (1) 120-130
- 「赤血球膜に秘められた歴史の小箱 赤血球膜蛋白質研究の先兵: Spectrin」八幡義人『血液フロンティア』14 (2) 262-270
- 「赤血球膜に秘められた歴史の小箱 膜蛋白質の連繋役 Ankyrin 赤血球領域を越えて」八幡義人『血液フロンティア』14 (3) 432-446
- 「赤血球膜に秘められた歴史の小箱 膜脂質二重層内の盟主 Band 3: 赤血球膜、腎尿細管性アシドーシス、血液型をめぐって」八幡義人『血液フロンティア』14 (4) 608-625
- 「赤血球膜に秘められた歴史の小箱 核内にも存在する膜骨格蛋白質 Protein4.1」八幡義人『血液フロンティア』14 (5) 754-764
- 「赤血球膜に秘められた歴史の小箱 我が国で注目されている Protein4.2」八幡義人『血液フロンティア』14 (6) 918-928

- 「赤血球膜に秘められた歴史の小箱 当てが外れた Glycophorin の明暗」八幡義人『血液フロンティア』14 (7) 1070-1082
- 「赤血球膜に秘められた歴史の小箱 赤芽球分化と膜蛋白質の発現」八幡義人『血液フロンティア』14 (8) 1250-1261
- 「赤血球膜に秘められた歴史の小箱 病態解明にヒントを与えた赤血球の楕円形状」八幡義人『血液フロンティア』14 (9) 1412-1424
- 「赤血球膜に秘められた歴史の小箱 Spectrin 遺伝子変異から見た遺伝性楕円赤血球症 その Genotype と Phenotype」八幡義人『血液フロンティア』14 (10) 1634-1643
- 「赤血球膜に秘められた歴史の小箱 遺伝性楕円赤血球症の病因 Protein4.1 などの遺伝子異常」八幡義人『血液フロンティア』14 (11) 1816-1828
- 「赤血球膜に秘められた歴史の小箱 遺伝性球状赤血球症膜疾患の代表格」八幡義人『血液フロンティア』14 (12) 1998-2007

45 皮膚科史

- 「Von Dem Grau Bis Zum Bunt ナチ第三帝国時代のドイツ皮膚科医 のこと (1)」上野賢一『皮膚科の臨床』46 (1)

85-87

- 「Von Dem Grau Bis Zum Bunt ナチ第三帝国時代のドイツ皮膚科医 Paul Linser とその弟子たち」上野賢一『皮膚科の臨床』46 (3) 459-462
- 「Von Dem Grau Bis Zum Bunt ナチ第三帝国時代のドイツ皮膚科医 その他の被迫害者 (1-2)」上野賢一『皮膚科の臨床』46 (4-5) 609-613, 747-750
- 「Von Dem Grau Bis Zum Bunt ナチ第三帝国時代のドイツ皮膚科医 Leo von Zumbusch のこと (1-3)」上野賢一『皮膚科の臨床』46 (7-9) 1025-1028, 1163-1165, 1305-1308
- 「Von Dem Grau Bis Zum Bunt ナチ第三帝国時代のドイツ皮膚科医 (26) アメリカへの亡命者」上野賢一『皮膚科の臨床』46 (11-12) 1687-1690, 1861-1864
- 「皮膚科医学史 南蛮紅毛流膏薬の諸々 大乙膏の研究」中西淳朗『皮膚病診療』26 (9) 1204-1205
- 「皮膚科医学史 南蛮紅毛流膏薬の諸々 ある阿蘭陀外科秘集」中西淳朗『皮膚病診療』26 (10) 1338-1340
- 「皮膚科医学史 南蛮紅毛流膏薬の諸々 春林軒の膏薬」中西淳朗『皮膚病診療』26 (11) 1450-1452
- 「皮膚科医学史 南蛮紅毛流膏薬の諸々 塩見流膏方便覧をめぐって」中西淳朗『皮膚病診療』26 (12) 1574-1576
- 「皮膚科医学史 Paul Langerhans の生涯 評価に100年を要した天才」矢野武『皮膚病診療』26 (4) 500-504

46 泌尿器科史

「日本における皮膚科・泌尿器科分離小史 泌尿器科学独立史」友吉唯夫『医学史研究』(84) 239-246

47 病院史

- 「【いま求められる 済生会らしさ「医療・福祉の質」の向上を目指して】済生会の成立と医療・福祉の展開」石光和雅『済生』(898) 5-11
- 「兵部省病院 (京都) の新知見 (抄)」中山沃『医譚』(98) 58-59

49 病理学史

- 「悪性リンパ腫のすべて 病理分類 悪性リンパ腫分類の歴史の変遷とその背景」一迫玲『血液・腫瘍科』49 (Supple.4) 156-164
- 「癌 病理学、細胞病理学から見た50年 本誌を通じて」田中昇『癌の臨床』50 (8) 599-605

51 仏教医学史

「【般若心経】の生理学」上野陽里『医学史研究』(85) 39-43

53 放射線医学史

「【頭頸部腫瘍の放射線治療がわかる】放射線治療の歴史と展望」池田恢『JOHNS』20 (2) 145-148

「X線発見後間もないウィーンと日本の対応」大場寛『日独医報』48 (4) 568-586

「わかりやすい放射線医学 放射線医学確立への道を拓いた人びと 1-3」久保田進『放射線科学』47 (9-11) 310-312, 328-331, 359-361

「【放射線治療学史】放射線治療学史 (1)」館野之男『日本医学放射線学会雑誌』64 (5,7) 314-320, 401-406

「放射線医学と病理学 病理学のためのミニ放射線治療史」館野之男『病理と臨床』22 (2,7) 199-205, 725-733

「癌 放射線療法から見た50年」辻井博彦、大野達也、柳剛『癌の臨床』50 (8) 651-662

54 本草学史・博物学史

「小野蘭山と尾張本草学」遠藤正治『名古屋医史談話会会報』(34) 1-7

「『草木図説』第1帙 (巻1-5) の出版の歩み」幸田正孝『惣斎研究会だより』(102) 2-8

「『草木図説』の遺稿研究 (第1報) CD化に成功した『江崎家草部稿本』にみる未収載植物 (抄)」田中俊弘、酒井英二、水野瑞夫、遠藤正治、江崎孝三郎『日本薬学会

124年会講演要旨集』(3) 211

55 麻酔学史

「麻酔科学史の研究 清水健太郎教授と日本麻酔科学会の創立」松木明知『麻酔』53 (2) 201-209

57 薬学史

「くすり徒然草 日本の伝統薬 陀羅尼助」伊藤恭子『からだの科学』(238) 118-119

「家伝薬「石田散薬」を検証する (抄)」上田直樹、寺澤雅治、椿孝浩、松岡寛、志田保夫、伊奈郊二、山田健二『日本薬学会124年会講演要旨集』(3) 211

「米穀の安全性とカビ毒 (マイコトキシン) —黄変米研究史から—」宇田川俊一、辰野高司『薬史学雑誌』39 (2) 321-342

「内藤記念くすり博物館蔵「耳石」について (抄)」海老原寛人、遠藤次郎、中村輝子『日本薬学会124年会講演要旨集』(2) 118

「江戸時代の輸入医薬品とその国産化の試み (2) 「諸国産物長」の検討 (抄)」大代純也、中村輝子、遠藤次郎『日本薬学会124年会講演要旨集』(2) 118

「楽しい薬理学 ハイデンハイン教授の2人の弟子 (2)」岡部進『薬局』55 (7) 2273-2277

- 「古典あれこれ プロスタグランジン—その1—」小川浩司
『JOHNS』20 (4) 642-649
- 「内藤記念くすり博物館「鱒石」の袋の書付について (抄)」
後藤志朗、中村輝子、遠藤次郎、ヴォルフガング・ミ
ヒェル『日本医史学雑誌』50 (1) 130-131
- 「日本病院薬剤師会の歴史 昭和50～55年の側面史から」
斎藤侑也『Journal of Japanese Society of Hospital
Pharmacists』40 (11) 1397-1399
- 「内藤記念くすり博物館の創立から今日まで」篠田愛信『薬
史学雑誌』39 (2) 265-269
- 「明治30年代の「売薬請売願・同約定書」の2つの資料に
ついて (抄)」杉本是孝『日本歯科医療管理学会雑誌』39
(1) 75
- 「薬祖神と各地の薬まつり」鈴木五郎『斯文』(112) 126-
134
- 「薬剤師は科学者である—科学を築いた薬剤師又は薬局助
手」永井恒司『薬剤学』64 (1) 27-28
- 「日本の売薬 (1) 小児五疳薬」中村輝子、遠藤次郎、田村
一至『薬史学雑誌』39 (2) 343-349
- 「内藤記念くすり博物館蔵「浅田宗伯の薬箱」について (抄)」
中村輝子、遠藤次郎、ヴォルフガング・ミヒェル『日本
医史学雑誌』50 (1) 50-51
- 「明治30年代の「売薬請売願・同約定書」に関する2つの

- 史料について」中山孝子、杉本是孝『日本歯科医史学
會々誌』25 (3) 126-132
- 「東大寺正倉院の香りから日本のアロマセラピーの源流を探
る 香葉の民俗の観点より」長谷川弘江『アロマテラ
ピー学雑誌』4 (1) 1-5
- 「衣服用防虫剤「藤澤樟脳」の100年 (4) 新製品のPR—
新聞広告の利用—」服部昭『薬史学雑誌』39 (2) 286-
291
- 「衣服用防虫剤「藤澤樟脳」の100年 (5) 顧客対応と品質
保証」服部昭『薬史学雑誌』39 (2) 315-320
- 「小杉放庵「炎帝・神農採薬図」濱田稔夫『いずみ』51 (9)
12-13
- 「注目されるアルドステロンの臓器障害 アルドステロン発
見の歴史」福地總逸『腎と透析』57 (5) 568-573
- 「歴代アメリカ薬局方 (USP-NF) に収載された生薬及びそ
の試験法 (抄)」牧野利明、鹿野美弘『日本薬学会124年
会講演要旨集』(3) 212
- 「『草木図説』稿本のデジタル画像—稿本の来歴と未刊植物
の紹介 I」水野瑞夫、江崎孝三郎、田中俊弘、酒井英二、
遠藤正治『慈斎研究会だより』(101) 2-11

58 蘭学史

- 「蘭学と漢方医学」秋葉哲生『慶應医学』81 (1) 61-62

- 「日本の蘭学受容の歴史を具象化する一冊のオランダ語外科書」石田純郎『医譚』(98) 1-3
- 「シーボルトが作成したデータペーパー(標本整理紙)について」加藤僖重、和田浩志『鳴滝紀要』(14) 1-12
- 「整形外科と蘭学 華岡青洲と整骨術」川寫真人『臨床整形外科』39 (1) 76-77
- 「整形外科と蘭学 星野木骨と整骨医」川寫真人『臨床整形外科』39 (5) 692-693
- 「整形外科と蘭学 (9) 各務木骨と整骨医」川寫真人『臨床整形外科』39 (7) 954-956
- 「整形外科と蘭学 (10) 奥田万里と木骨」川寫真人『臨床整形外科』39 (10) 1336-1338
- 「緒方洪庵と大坂の蘭学事情」築山桂『北陸医史』25 (1) 42-45
- 59 リハビリテーション関係史**
- 「我が国におけるリハビリテーション医療の歴史的展開とその課題」加賀谷一『医学史研究』(85) 11-19
- 「【加圧筋力トレーニングのリハビリテーションへの応用】加圧筋力トレーニングへの歴史と最近の動向」佐藤義昭『臨床スポーツ医学』21 (3) 209-213
- 「リハビリテーション医学、医療のこれからの新しい視点 これまでの40年の学会活動をふり返って」祖父江逸郎

『リハビリテーション医学』41 (1) 11-16

- 「医療技術職の専門分化過程における職業意識の考察—精神科作業療法に関わる職種の事例—」柳田純子『東京情報大学研究論集』7 (2) 105-113
- 「医療技術職の専門分化過程における職業意識の考察 (二) —精神科作業療法従事者の専門分化と職業倫理—」柳田純子『東京情報大学研究論集』8 (1) 45-57
- 「精神科作業療法職の専門分化過程の考察 (一) —昭和四〇年の資格化に伴う職務への影響 (抄)—」柳田純子『日本医史学雑誌』50 (1) 86-87

60 検査

- 「肺機能検査法いろは 喘息研究から見た歴史的変遷 (6)」石井彰『アレルギー・免疫』11 (9) 1242-1247
- 「わが国の乳がん検診の歴史と展望 わが国の乳癌検診の歴史 (抄)」泉雄勝『日本乳癌検診学会誌』13 (3) 364
- 「日本における胃カメラ開発の諸条件とオリジナリティー 医史的視点からの試論 (抄)」梅谷薫『Progress of Digestive Endoscopy (消化器内視鏡の進歩)』65 (1) 86
- 「わが国の乳がん検診の歴史と展望 マンモグラフィを原則とした新たな乳がん検診指針 (抄)」大内憲明『日本乳癌検診学会誌』13 (3) 365
- 「肺機能検査法いろは 喘息研究から見た歴史的変遷 (1)-

(2) 可部順三郎『アレルギー・免疫』11 (4、5) 536-542, 688-693

「肺機能検査法いろは 喘息研究から見た歴史の変遷 (7)」
河井誠、滝澤始『アレルギー・免疫』11 (10) 1362-1365

「【ドーピング・スポーツ薬物検査】ドーピングの歴史とアンチ・ドーピング国際ネットワーク」河野一郎『臨床検査』48 (7) 733-739

「肺機能検査法いろは 喘息研究から見た歴史の変遷 (5)」
幸山正『アレルギー・免疫』11 (8) 1118-1124

「肺機能検査法いろは 喘息研究から見た歴史の変遷 (4)」
坂本芳雄『アレルギー・免疫』11 (7) 984-991

「肺機能検査法いろは 喘息研究から見た歴史の変遷 (3)」
滝澤始、可部順三郎『アレルギー・免疫』11 (6) 835-843

「【血糖自己測定 (SMBG) 限界から可能性へ Master Lecture】SMBGの歴史 過去から現代迄の血糖自己測定器、穿刺器具一覧」鶴岡明『糖尿病診療マスター』2 (2) 138-144

「コロトコフの聴診による血圧測定の発見 (抄)」藤倉一郎
『日本医史学雑誌』50 (1) 44-45

「ニコライ・コロトコフ—聴診による血圧測定の発見」藤倉一郎
『日本医史学雑誌』50 (3) 391-403

「蛍光イメージング革命 蛍光顕微鏡の今昔先生」宮脇敦史

『細胞工学』23 (6) 698-700

「わが国の乳がん検診の歴史と展望 乳がん検診の精度管理における精中委の役割の歴史と展望 (抄)」森本忠興『日本乳癌検診学会誌』13 (3) 366

61 その他

「解剖学者がみたミケランジェロの彫刻 木彫十字架像 右胸部の創は何を意味するか？」篠原治道『最新医学』59 (5) 1084-1087

「長崎奉行所判決記録に見る江戸時代の酒乱と酒狂 (抄)」
田中輝好『アディクションと家族』20 (4) 462

「『心のノート』と日本の臨床心理学の歴史」山岸竜治『臨床心理学研究』42 (1) 59-68

62 中国語文献

「『傷寒論』日本内閣本与中国北図本互勘研究」錢超塵・梁永宣『中華医史雑誌』34 (1) 3-9

「明末「以人補人」用薬風気興衰的研究」甄雪燕『中華医史雑誌』34 (1) 10-15

「中薬三七在明代得以伝播の歴史条件」章静・方曉陽『中華医史雑誌』34 (1) 16-20

「『黄帝内経』対医学心理学的論述」楊利民『中華医史雑誌』34 (1) 21-26

- 「李時珍对人体生命的認識」張其成『中華医史雜誌』34 (1) 27-30
- 「嘉惠霖和博濟醫院」劉澤生·劉澤恩『中華医史雜誌』34 (1) 31-36
- 「徐謙光生平及『推拿三字經』簡介」葛湄菲·賀靜華『中華医史雜誌』34 (1) 53
- 「論章次公『藥物学』」叶新苗·唐雲『中華医史雜誌』34 (1) 37-39
- 「『嘉祐本草』增引的「唐本」考察」虞舜『中華医史雜誌』34 (1) 40-42
- 「從交感鏈切除術簡史看外科微創化艱辛歷程」劉彦国·王俊『中華医史雜誌』34 (1) 43-45
- 「陸游南昌紀病詩考」叶明花『中華医史雜誌』34 (1) 46-48
- 「中華医学会医業保障委员会的建立与影響」張斌『中華医史雜誌』34 (1) 49-53
- 「近 5 年来中国的医学史研究」朱建平『中華医史雜誌』34 (1) 54-59
- 「『古代中医婦產科疾病史』評介」鄭金生『中華医史雜誌』34 (1) 60-62
- 「施今墨祖籍尋踪」蕭天水『中華医史雜誌』34 (1) 20
- 「近 30 年来新出現的主要傳染病」杜延英·郝清華『中華医史雜誌』34 (1) 26
- 「香港最早的華人醫院」『中華医史雜誌』34 (1) 36
- 「医療管理之父」『中華医史雜誌』34 (1) 36
- 「孟河医家新探」Volker Scheid·繆衛群『中華医史雜誌』34 (2) 67-73
- 「錢塘医派述要」竹劍平·張承烈等『中華医史雜誌』34 (2) 74-78
- 「近代中医防治白喉病史略」余永燕『中華医史雜誌』34 (2) 79-82
- 「原發性酮固酪增多症診療簡史」李振華·孔垂澤等『中華医史雜誌』34 (2) 83-88
- 「試論『管子』的哲学思想对祖国医学的影響」鮑曉東『中華医史雜誌』34 (2) 89-92
- 「氣候因素对中医学形成和發展的影響」王侃·秦霖『中華医史雜誌』34 (2) 93-96
- 「蒙医伊希巴拉珠爾及『甘露四部』」蘇日雅『中華医史雜誌』34 (2) 97-98
- 「日本近代医療团体同仁会」丁蕾『中華医史雜誌』34 (2) 99-103
- 「北京中医学社对北京中医發展的影響」董澤宏『中華医史雜誌』34 (2) 104-107
- 「清以前『婦人良方』版本考略」劉洋『中華医史雜誌』34 (2) 108-111
- 「秋石研究進展」高志強·張秉倫『中華医史雜誌』34 (2) 112-116

- 「清末民初山西省主要教会医院簡介」李建華·邢宏萍等
『中華医史雜誌』34 (2) 117-121
- 「『点石齋畫報』記載的中国近代剖腹產手術」王萃·鄧紹根
『中華医史雜誌』34 (2) 122-124
- 「蔡景峰『藏医学通史』評介」朱建平『中華医史雜誌』34
(2) 125-127
- 「中医第一部防治鼠疫的專著—『治鼠疫法』」吳文清『中華
医史雜誌』34 (2) 82
- 「『医学統宗』中的明代医学試題」袁冰『中華医史雜誌』34
(2) 88
- 「『素問』积義」白興華『中華医史雜誌』34 (2) 127
- 「用溫度計測量体温的首創者」『中華医史雜誌』34 (2) 92
- 「應該重視医学研究的基本功練習」張志斌『中華医史雜誌』
34 (3) 131-133
- 「中華蘇維埃共和国傳染病防治工作的經驗」唐国平『中華医
史雜誌』34 (3) 134-137
- 「20 世紀 30 年代江蘇北部黑熱病流行及防治初探」王鶴亭
『中華医史雜誌』34 (3) 138-142
- 「近代名医祝味菊史實訪查記」農漢才『中華医史雜誌』34
(3) 143-147
- 「『鷄峰普濟方』作者考辨」張宗棟·張薛『中華医史雜誌』
34 (3) 148-152
- 「經絡的内涵与神經的聯系」朱兵『中華医史雜誌』34 (3)
153-157
- 「辨証論治發展史略」葛秀梅·胡欣『中華医史雜誌』34 (3)
158-161
- 「著名蒙医藥学家占布拉道爾吉生平新考」宝音因·趙百歲等
『中華医史雜誌』34 (3) 162-165
- 「乳腺癌外科手術發展史」高金波·史雯嘉『中華医史雜誌』
34 (3) 166-169
- 「牙種植体—骨組織界面理論的演變」周彬·曹穎光等『中華
医史雜誌』34 (3) 170-172
- 「朱端章及其衛生家宝系列方書略考」李昆·王霞『中華医史
雜誌』34 (3) 173-175
- 「細胞周期及其周期調控研究的發展簡史」楊兆穎·李金梁
『中華医史雜誌』34 (3) 176-179
- 「『黄帝內經素問』的詁介及在西方的傳播」藍鳳利『中華医
史雜誌』34 (3) 180-183
- 「清末金德鑒与日本岡田篁所的學術交流」梁永宣『中華医史
雜誌』34 (3) 184-186
- 「俞樾『廢医論』及其思想根源分析」郝先中『中華医史雜
誌』34 (3) 187-190
- 「簡評『清代江南的瘟疫与社会——一項社会治療史的研究』」
趙献海『中華医史雜誌』34 (3) 191-封 3
- 「刮痧法探源」明嵐『中華医史雜誌』34 (3) 152
- 「『同仁堂藥目』和清末藥肆的官司」黃_鑫·黃涛『中華医史

- 雜誌】34 (3) 169
- 「關於元軍圍汴的疫史年代」李文波『中華医史雜誌』34 (3) 190
- 「「世界防治結核病日」及其宣傳主題」『中華医史雜誌』34 (3) 172
- 「蓋伊学派及其代表人物」『中華医史雜誌』34 (3) 175
- 「人工全靜脈營養孕育的第一人」『中華医史雜誌』34 (4) 245
- 「『海外新發現「永樂大典」17卷』医藥文献初探」張如青『中華医史雜誌』34 (4) 195-198
- 「宋元以前「痛風」及其相關中西病症比較」張玉萍·肖梅華『中華医史雜誌』34 (4) 199-204
- 「清代「第一医官」劉裕鐸」馬紅治『中華医史雜誌』34 (4) 205-209
- 「古病名「讓」之沿革」楊金萍『中華医史雜誌』34 (4) 210-213
- 「不寐病名考略」孫洪生·敝季瀾『中華医史雜誌』34 (4) 214-217
- 「台湾中藥商保留藥名漢代中原古音」張賢哲·蔡貴花『中華医史雜誌』34 (4) 218-220
- 「倫敦會传教士馬根濟簡論」李穎『中華医史雜誌』34 (4) 221-224
- 「臨床流行病学及循証医学的先驅者薩克特」張鳴明·李靜『中華医史雜誌』34 (4) 225-228
- 「痲腮病源流考析」趙艷『中華医史雜誌』34 (4) 229-232
- 「藏府辨証学說与道教」楊雪梅『中華医史雜誌』34 (4) 233-237
- 「戰國楚簡『性情論』医学内容探討」高毓秋·孫文鐘『中華医史雜誌』34 (4) 238-241
- 「王吉民年表」蕭惠英『中華医史雜誌』34 (4) 242-245
- 「踪尋古希臘医聖」馬伯英『中華医史雜誌』34 (4) 246-249
- 「簡評朱建平著『中国医学史研究』」謝海洲『中華医史雜誌』34 (4) 250-251
- 「第七届全国中医藥文献學術研討會紀要」劉玉瑋『中華医史雜誌』34 (4) 252-253
- 「南北「橘井」考」王鳳林『中華医史雜誌』34 (4) 220
- 「「厲針砥石」考」李書田『中華医史雜誌』34 (4) 228
- 「『五十二病方』詞彙二題」張正霞『中華医史雜誌』34 (4) 251
- 「宋代医家李禋生平小考」張如安『中華医史雜誌』34 (4) 253

64 欧文文献

- AMRITH, Sunil: In Search of a 'Magic Bullet' for Tuberculosis: South India and Beyond, 1955-1965: *So. Hist. Med.*:17 (1) 113-130
- APPEL, Jacob M.: A Duty to Kill? A Duty to Die? Rethinking the Euthanasia Controversy of 1906: *Bull. Hist. Med.*:78 (3) 610-634
- BAKER, Patricia: Roman Medical Instruments: Archaeological Interpretations of Their Possible 'Non-functional' Uses: *So. Hist. Med.*:17 (1) 3-21
- BECKETT, Chris: For the Record: The Francis Crick Archive at the Wellcome Library: *Medical History*:48 (2) 245-260
- BEIER, Lucinda Mccray: Expertise and Control: Childbearing in Three Twentieth-Century Working-Class Lancashire Communities: *Bull. Hist. Med.*:78 (2) 379-409
- BENEDEK, Thomas G.: The History of Gold Therapy for Tuberculosis: *J. Hist. Med. Allied Sci.*:59 (1) 50-89
- BERNABEU-MESTRE, J./BALLESTER-ARTIGUES, T.: Disease as a Metaphorical Resource: The Fontilles Philanthropic Initiative in the Fight Against Leprosy, 1901-1932: *So. Hist. Med.*:17 (3) 409-421
- BRIMNES, Niels: Variolation, Vaccination and Popular Resistance in Early Colonial South India: *Medical History*:48 (2) 199-228
- BROWN, Kenneth D.: Smoking in Northern Ireland: A Case Study in Local Health Education, 1950-1973: *So. Hist. Med.*:17 (2) 285-299
- CAREY, Hilary M.: Astrological Medicine and the Medieval English Folded Almanac: *So. Hist. Med.*:17 (3) 345-363
- CHANG, Ku-ming (Kevin) : Motus Tonicus: Georg Ernst Stahl's Formulation of Tonic Motion and Early Modern Medical Thought: *Bull. Hist. Med.*:78 (4) 767-803
- CLARK, Ann: Compliance with Infant Smallpox Vaccination Legislation in Nineteenth-century Rural England: Hollingbourne, 1876-88: *So. Hist. Med.*:17 (2) 175-198
- CODY, Lisa Forman : Living and Dying in Georgian London's Lying-In Hospitals: *Bull. Hist. Med.*:78 (2) 309-348

- COLGROVE, James: Between Persuasion and Compulsion: Smallpox Control in Brooklyn and New York, 1894-1902: *Bull. Hist. Med.*:78 (2) 349-378
- COOTER, Roger: The Rise and Decline of the Medical Member: Doctors and Parliament in Edwardian and Interwar Britain: *Bull. Hist. Med.*:78 (1) 59-107
- CROSLAND, Maurice :The Officiers de Sante of the French Revolution: A Case Study in the Changing Language of Medicine: *Medical History*:48 (2) 229-244
- CULE, John: Medical History for the Medical Student: *Vesalius*:10 (2) 52-54
- CURTIS, Stephan M.: Nutrition and Scarlet Fever Mortality during the Epidemics of 1860-90: The Sundsvall Region: *So. Hist. Med.*:17 (2) 199-221
- DAVENPORT, Horace W.: Pavlov's Physiology Factory: A Physiologist as Entrepreneur An Essay Review: *J. Hist. Med. Allied Sci.*:59 (2) 273-289
- DRACOBLY, Alex: Theoretical Change and Therapeutic Innovation in the Treatment of Syphilis in Mid-Nineteenth-Century France: *J. Hist. Med. Allied Sci.*:59 (4) 522-554
- EMED, Alexander: Leopold Schenk (1840-1902) : *Vesalius*:10 (1) 37
- EMERSON, Roger L.: The Founding of the Edinburgh Medical School: *J. Hist. Med. Allied Sci.*:59 (2) 183-218
- FRENCH, M./PHILLIPS, J.: Windows and Barriers in Policy-making: Food Poisoning in Britain, 1945-56: *So. Hist. Med.*:17 (2) 269-284
- GODDEN, J./HELMSTADTER, C.: Woman's Mission and Professional Knowledge: Nightingale Nursing in Colonial Australia and Canada: *So. Hist. Med.*:17 (2) 157-174
- GOODEY, C.F.: "Foolishness" in Early Modern Medicine and the Concept of Intellectual Disability: *Medical History*:48 (3) 289-310
- GOODHEART, Lawrence B.: Rethinking Mental Retardation: Education and Eugenics in Connecticut, 1818-1917: *J. Hist. Med. Allied Sci.*:59 (1) 90-111
- GORSKY, Martin: 'Threshold of a New Era': The Development of an Integrated Hospital System in Northeast Scotland, 1900-39: *So. Hist. Med.*:17 (2) 247-267

- GREENE, Jeremy A.:Therapeutic Infidelities: 'Noncompliance' Enters the Medical Literature. 1955-1975:So. Hist. Med.:17 (3) 327-343
- GRYGLEWSKI, Richard W.:Rafael Joseph Czerwiakowski- the father of Polish surgery:Vesalius:10 (1) 35-36
- GUERRINI, Anita:Anatomists and Entrepreneurs in Early Eighteenth-Century London:J. Hist. Med. Allied Sci.:59 (2) 219-239
- HACKETT, Paul:Averting Disaster: The Hudson's Bay Company and Smallpox in Western Canada during the Late Eighteenth and Early Nineteenth Centuries:Bull. Hist. Med.:78 (3) 575-609
- HAHNER-ROMBACH, Sylvelyn:Hospitalization: A Contentious Issue for Patients and Health Funds in Baden, 1893-1914:Medical History:48 (3) 329-350
- HANSEN, Bert:Medical History for the Masses: How American Comic Books Celebrated Heroes of Medicine in the 1940s:Bull. Hist. Med.:78 (1) 148-191
- HARRIS, Bernard:Public Health, Nutrition, and the Decline of Mortality: The McKeown Thesis Revisited:So. Hist. Med.:17 (3) 379-407
- HAYWARD, Rhodri:Demonology, Neurology, and Medicine in Edwardian Britain:Bull. Hist. Med.:78 (1) 37-58
- HILLOOWALA, Rummy:Leonardo da Vinci, Visual Perspective and the Crystalline Sphere (lens) : If only Leonardo had had a Freezer:Vesalius:10 (1) 10-15
- HUGHES, David:Just a Breath of Fresh Air in an Industrial Landscape? The Preston Open Air School in 1926: A School Medical Service Insight:So. Hist. Med.:17 (3) 443-461
- HURREN, Elizabeth T.:A Pauper Dead-House: The Expansion of the Cambridge Anatomical Teaching School under the late-Victorian Poor Law, 1870-1914:Medical History:48 (1) 69-94
- ISEPPONI, O./HUWILER, V./BOSCHUNG, U.:Theodor Kocher's Surgical and Clinical Case Presentations:Bull. Hist. Med.:78 (1) 192-194
- JONES, E./WOOLVEN, R./DURODIE, B./WESSELY, S.:Civilian Morale During the Second World War: Responses to Air Raids Re-examined:So. Hist. Med.:17 (3) 463-479

- JURDJEVIC, M./TILLMAN, C.:E.C.Noble an June 1921, and His Account of the Discovery of Insulin:Bull. Hist. Med.:78 (4) 864-875
- KAZANJIAN, Powel:Changing Interest among Physicians toward Pneumococcal Vaccination throughout the Twentieth Century:J. Hist. Med. Allied Sci.:59 (4) 555-587
- KINGSTON, William:Streptomycin, Schatz v. Waksman, and the Balance of Credit for Discovery:J. Hist. Med. Allied Sci.:59 (3) 441-462
- KLESTINEC, Cynthia:A History of Anatomy Theaters in Sixteenth-Century Padua:J. Hist. Med. Allied Sci.:59 (3) 375-412
- KNOEFF, Rina:The Reins of the Soul: The Centrality of the Intercostal Nerves to the Neurology of Thomas Willis and to Samuel Parker's Theology:J. Hist. Med. Allied Sci.:59 (3) 413-440
- KOPPERMAN, Paul E.:"Venerate the Lancet": Benjamin Rush's Yellow Fever Therapy in Context:Bull. Hist. Med.:78 (3) 539-574
- KROKER, Kenton:Epidemic Encephalitis and American Neurology, 1919-1940:Bull. Hist. Med.:78 (1) 108-147
- KRUEGER, Gretchen:Death Be Not Proud: Children, Families, and Cancer in Postwar America:Bull. Hist. Med.:78 (4) 836-863
- KUSHNER, H.L./TURNER, C.L./BASTIAN, J.F./BURNS, J.C. :The Narratives of Kawasaki Disease:Bull. Hist. Med.:78 (2) 410-439
- LAWRENSON, Ross:Medical Practice in New Zealand 1769-1860:Vesalius:10 (1) 4-9
- LEEMING, William:The Early History of Medical Genetics in Canada:So. Hist. Med.:17 (3) 481-500
- LEON, Sharon M.:"Hopelessly Entangled in Nordic Pre-suppositions": Catholic Participation in the American Eugenics Society in the 1920s:J. Hist. Med. Allied Sci.:59 (1) 3-49
- LERNER, Barron H.:Beyond Informed Consent: Did Cancer Patients Challenge Their Physicians in the Post-World War II Era?:J. Hist. Med. Allied Sci.:59 (4) 507-521
- LEVENE, A./POWELL, M./ STEWART, J.:Patterns of Municipal Health Expenditure in Interwar England

- and Wales :Bull. Hist. Med.:78 (3) 635-669
- LORD, Alexandra M.: 'Naturally Clean and Wholesome': Women, Sex Educaion, and the United States Public Health Service, 1918-1928:So. Hist. Med.:17 (3) 423-441
- LOW-BEER, D./SMALLMAN-RAYNOR, M./CLIFF, A.:Disease and Death in the South African War: Changing Disease Patterns from Soldiers to Refugees:So. Hist. Med.:17 (2) 223-245
- MACGREGOR, J.D.:Disease in Africa: a Medical Perspective from the 1950s:Vesalius:10 (2) 67-73
- MADDEN, Deborah:Contemporary Reaction to John Wesley's Primitive Physic: Or, the Case of Dr. William Hawes Examined:So. Hist. Med.:17 (3) 365-378
- MAEHLE, Andreas-Holger:"Receptive Substances": John Newport Langley (1852-1925) and His Path to a Receptor Theory of Drug Action:Medical History:48 (2) 153-174
- MALLECK, Daniel J.:Professionalism and the Boundaries of Control: Pharmacists, Physicians and Dangerous Substances in Canada, 1840-1908:Medical History:48 (2) 175-198
- MATSUMURA, Janice:State Propaganda and Mental Disorders: The Issue of Psychiatric Casualties among Japanese Soldiers during the Asia-Pacific War:Bull. Hist. Med.:78 (4) 804-835
- MENENTEAU, Sandra:Examens Medicaux Post-Mortem: les pratiques de l'autopsie scientifique et de l'autopsie medico-legale, aux XIXeme siecle, en France:Vesalius:10 (1) 25-34
- MOLD, Alex:The 'British System' of Heroin Addiction Treatment and the Opening of Drug Dependence Units, 1965-1970:So. Hist. Med.:17 (3) 501-517
- MORTIMER, Ian:Diocesan Licensing and Medical Practitioners in South-West England, 1660-1780:Medical History:48 (1) 49-68
- PEUMERY, Jean J.:Georges Dieulafoy (1839-1911) et l'enseignement de la medecine a Paris a la charniere du Second Empire et de la IIIe Republique:Vesalius:10 (2) 74-77
- PLANCHON, Claude:Le Fabuleux Destin du Docteur Veron:Vesalius:10 (1) 20-24
- RIAUD, Xavier:Le service dentaire de l'armee ameri-

- caine pendant la Seconde Guerre Mondiale: *Vesalius*:10 (2) 78-82
- SALLARES, R./BOUWMAN, A./ANDERUNG, C.:The Spread of Malaria to Southern Europe in Antiquity: New Approaches to Old Problems: *Medical History*:48 (3) 311-328
- SILBEY, David:Bodies and Cultures Collide: Enlistment, the Medical Exam, and the British Working Class, 1914-1916:*So. Hist. Med.*:17 (1) 61-76
- SILVER, C.P.:Renkioi: A Forgotten Crimean War Hospital and its Significance:*Vesalius*:10 (2) 55-60
- SINGY, Patrick:History of Masturbation: An Essay Review:*J. Hist. Med. Allied Sci.*:59 (1) 112-121
- SIRAISI, Nancy G.:Medicine and the Renaissance World of Learning:*Bull. Hist. Med.*:78 (1) 1-36
- SMITH, D.F./BUFTON, M.W.:A Case of Parturiunt Montes, Nascetur Ridiculus Mus? The BMA Nutrition Committee 1947-1950 and the Political Disengagement of Nutrition Science:*J. Hist. Med. Allied Sci.*:59 (2) 240-272
- TALLEY, C./KUSHNER, H.L./STERK, C.E.:Lung Cancer, Chronic Disease Epidemiology, and Medicine, 1948-1964:*J. Hist. Med. Allied Sci.*:59 (3) 329-374
- TAYLOR, Kim:Divergent Interests and Cultivated Misunderstandings: The Influence of the West on Modern Chinese Medicine:*So. Hist. Med.*:17 (1) 93-111
- WADDINGTON, Keir:To Stamp Out "So Terrible a Malady": Bovine Tuberculosis and Tuberculin Testing in Britain, 1890-1939:*Medical History*:48 (1) 29-48
- WILDE, Sally:See One, Do One, Modify One: Prostate Surgery in the 1930s:*Medical History*:48 (3) 351-366
- WITTMANN, Emily:To what extent were ideas and beliefs about eugenics held in Nazi Germany shared in Britain and the United States prior to the Second World War?:*Vesalius*:10 (1) 16-19
- WOODS, Abigail:The Construction of an Animal Plague: Foot and Mouth Disease in Nineteenth-century Britain:*So. Hist. Med.*:17 (1) 23-39
- WORBOYS, Michael:Unsexing Gonorrhoea: Bacteriologists, Gynaecologists, and Suffragists in Britain, 1860-1920:*So. Hist. Med.*:17 (1) 41-59
- ZUCKERMAN, Arnold:Plague and Contagionism in

Eighteenth-Century England: The Role of Richard Mead:Bull. Hist. Med.:78 (2) 273-308

ZURLINI, Fabiola:The physician Romolo Spezioli (1642-1723) and his private library in the Public Library of Fermo:Vesalius:10 (2) 61-66

ZYLBERMAN, Patrick:Fewer Parallels than Antitheses: Rene Sand and Andrija Stampar on Social Medicine, 1919-1955 :So. Hist. Med.:17 (1) 77-92

ZYLBERMAN, Patrick:Making Food Safety an Issue: Internationalized Food Politics and French Public Health from the 1870s to the Present:Medical History:48 (1) 1-28